プログラム

会長講演…… 24
特別講演 / Special Lecture …… 24
特別シンポジウム / Special Symposium …… 24
時実レクチャー…… 25
島薗レクチャー…… 26
奨励賞受賞記念講演…… 26
Jun Kimura レクチャー …… 26
コスミックコーポレーション
神経筋接合部疾患研究奨励賞　受賞記念講演…… 26
教育講演…… 27
シンポジウム…… 35
ワークショップ…… 47
サテライトシンポジウム…… 50
ハンズオンセミナー…… 55
ランチョンセミナー…… 57
一般演題（口演）…… 60
English Oral Session…… 75
一般演題（ポスター）…… 77
English Poster Session …… 95

第 56 回日本臨床神経生理学会学術大会

LS10　ランチョンセミナー 10

11 月 14 日（土）　12:30 ～ 13:30（第 4 会場）

座長：神 一敬（東北大学大学院医学系研究科 高次脳機能学分野）

LS10　てんかん症候群の脳波を読む - 特徴的所見と薬物療法の実際 -

赤松 直樹

国際医療福祉大学医学部 脳神経内科

共催：日本新薬株式会社

一般演題（口演）1　眼球運動

11 月 12 日（木）　10:40 ～ 11:20（第 6 会場）

座長：城倉 健（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 脳神経内科）

O1-01　中枢性頭位眼振患者における前庭眼反射

○城倉 健[1]、城野 誉士[1]、高橋 幸治[2]、田中 理[2]

[1] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　脳神経内科、[2] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　臨床検査部

O1-02　視運動性刺激が追従性眼球運動に与える影響：前庭神経核反応性の左右差

○城野 誉士[1]、高橋 幸治[2]、城倉 健[1,2]

[1] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　脳神経内科、[2] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　臨床検査部

O1-03　Premature saccade における進行方向の経時的変化

○徳重 真一[1,2]、松田 俊一[2,3]、寺田 さとみ[2,4]、濱田 雅[2]、宇川 義一[5,6]、辻 省次[2,7]、寺尾 安生[2,4]

[1] 杏林大学　脳神経内科、[2] 東京大学　脳神経内科、[3] 国立国際医療センター　脳神経内科、[4] 杏林大学　病態生理学、[5] 福島県立医科大学　システム神経科学、[6]NHO 福島病院　神経内科、[7] 国際医療福祉大学　ゲノム医学研究所

O1-04　斜め方向 saccade の運動特性

○高橋 幸治[1]、城野 誉士[2]、横山 貴子[3]、城倉　健[1,2]

[1] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　臨床検査部、[2] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　脳神経内科、[3] 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　臨床研究部

O1-05　瞬目反射の A-delta 線維刺激によるプレパルス抑制の臨床応用について

○藤田 雄輝[1]、山羽 亜美[1]、葛西 彩理[1]、塚本 実奈子[1]、中山 享之[1]、藤田 貢平[2]、乾 幸二[3]、牛田 享宏[4]、西原 真理[4]

[1] 愛知医科大学病院　中央臨床検査部、[2] 愛知医科大学　医学部　精神学講座、[3] 愛知県異様療育総合センター　発達障害研究所　障害システム研究部門、[4] 愛知医科大学　医学部　疼痛医学講座

一般演題（口演）2　体性感覚誘発電位

11 月 12 日（木）　15:50 ～ 16:30（第 7 会場）

座長：黒川 勝己（川崎医科大学総合医療センター 総合内科学 1 ）

O1-06　正中神経体性感覚誘発電位における lcP13 電位の同定が局在診断に有用だった環軸椎亜脱臼 4 症例

○山田 一貴[1]、藤井 勇基[2]、松倉 清司[2]、神林 隆道[2]、海永 光洋[1]、代田 悠一郎[1,3]、濱田 雅[1]、小林 俊輔[2]、園生 雅弘[2,4]

[1] 東京大学医学部附属病院　脳神経内科、[2] 帝京大学医学部　脳神経内科、[3] 東京大学医学部附属病院　検査科、[4] 帝京大学医療技術学部　視能矯正学科

O1-07　急性期脳卒中症例における体性感覚誘発電位二連発抑制比と体性感覚機能との関連

○渡邉 拓[1]、井上 大聖[1]、小島 翔[2,3]、久保田 雅史[4]、松尾 英明[1]、松村 真裕美[1]、小谷 奏空[1]、井川 正道[5]、有島 英孝[6]、大西 秀明[2,3]

[1] 福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部、[2] 新潟医療福祉大学　運動機能医科学研究所、[3] 新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部理学療法学科、[4] 金沢大学　医薬保健研究域保健学系理学療法科学講座、[5] 福井大学医学部附属病院　脳神経内科、[6] 福井大学医学部附属病院　脳神経外科

O1-08　脊髄 MRI に異常を伴わない脊髄癆の診断における脛骨神経 SEP の有用性

○松倉 清司、北國 圭一、千葉 隆司、神林 隆道、畑中 裕己、小林 俊輔、園生 雅弘
帝京大学医学部附属病院　脳神経内科

O1-09　正中神経刺激体性感覚誘発電位の P11 形成における神経走行の方向変化の関与：頭頸部電位分布マップと磁場解析による検討

○大谷 泰[1]、尾崎 勇[1,2]、渡部 泰士[1]、赤座 実穂[3]、足立 善昭[4]、関原 謙介[1]、川端 茂徳[1]

[1] 東京科学大学　先端技術医療応用学講座、[2] 弘前医療福祉大学保健学部　医療技術学科 言語聴覚学専攻、[3] 東京科学大学　生命情報応用学分野、[4] 金沢工業大学　先端電子技術応用研究所

O1-10　姿勢制御時の体性感覚ゲーティング　―刺激前の瞬時脳活動による調節―

○藤尾 公哉[1]、小幡 博基[2]、秤谷 名鷹[1]、河島 則天[1]

[1] 国立障害者リハビリテーションセンター研究所、[2] 九州工業大学教養教育院

一般演題（口演）3　運動ニューロン疾患

11 月 12 日（木）　16:40 ～ 17:20（第 7 会場）

座長：澁谷 和幹（千葉大学 脳神経内科）

O1-11　脳神経内科にて診断しヌシネルセン治療中の脊髄性筋萎縮症（SMA）3 型の電気生理所見：運動単位数推定も含めて

○森 仁[1,2,3]

[1] 水島中央病院　脳神経内科、[2] 岡山東部脳神経外科東備クリニック脳神経内科、[3] 岡山東部脳神経外科病院脳神経内科

O1-12　球脊髄性筋萎縮症における運動神経軸索興奮性と症状進行速度の関係

○奈良 猛[1,2]、澁谷 和幹[2]、水地 智基[2]、黒岩 良太[1]、村田 淳[1]、桑原 聡[2,3]

[1] 千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部、[2] 千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学、[3] 千葉大学災害治療学研究所

O1-13　筋萎縮性側索硬化症における低頻度反復刺激の減衰様式と運動単位の関連

○鳥谷 直紀[1,2]、阿部 達哉[1]、山内 理香[1]、渡辺 大祐[1]、北尾 るり子[1]、大熊 彩[1]、北村 美月[1]、木村 俊紀[1]、今井 富裕[1]

[1]国立病院機構　箱根病院　神経筋・難病医療センター、[2]慶應義塾大学　神経内科

O1-14　脊髄性筋萎縮症の呼吸障害は横隔膜ではなく肋間筋障害が主体である ― 神経伝導・超音波・CTによる検討

○上月 惇、関口 兼司、杉澤 良介、田中 智子、野田 佳克、千原 典夫

神戸大学大学院医学系研究科　内科学講座　脳神経内科学分野

O1-15　超音波エラストグラフィによるALS舌筋弾性率の経時的変化の検討

○柳川 香織[1]、池 真樹子[2]、青山 あずさ[1]、横尾 健[3]、寺井 崇二[4]、林 孝文[2]、小野寺 理[1]

[1]新潟大学脳研究所　脳神経内科、[2]新潟大学大学院　医歯学総合研究科　顎顔面放射線学分野、[3]新潟大学大学院　医歯学総合研究科　健康長寿延伸・消化器疾患先制医学講座、[4]新潟大学大学院　医歯学総合研究科　消化器内科学分野

一般演題（口演）4　AI・機械学習・情報処理

11月13日（金）　8:30～9:26（第6会場）

座長：大西 秀明（新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部）

O2-01　近位型頚椎症性筋萎縮症の保存治療予後予測モデル：CMAP併用モデルと臨床・画像情報のみの機械学習モデルの比較

○舩場 真裕[1]、鈴木 秀典[1]、今城 靖明[2]、米村 浩[3]、藤本 和弘[1]、西田 周泰[1]、坂井 孝司[1]

[1]山口大学　整形外科、[2]JCHO徳山中央病院　整形外科、[3]小郡第一総合病院　整形外科

O2-02　針筋電図の半自動運動単位分解同定ツールの開発

○関口 兼司[1]、野田 佳克[1,2]

[1]神戸大学大学院医学系研究科　脳神経内科、[2]中田医院

O2-03　複合筋活動電位からの運動神経伝導速度分布推定における物理情報注意機構の有用性

○野寺 裕之

天理よろづ相談所病院　神経筋疾患センター

O2-04　ウェーブレット解析を用いた単チャネル表面筋電図による線維束収縮関連活動の非侵襲的検出

○向野 隆彦[1,2]、永井 秀利[2]、小早川 優子[1,3]、江 千里[1]、岩尾 和紀[1]、飯田 紘太郎[1]、入江 剛史[1]、稲水 佐江子[1]、永田 諭[1]、田中 栄蔵[1]、倉沢 亮[1]、竹内 創[1]、宮崎 愛理[1]、磯部 紀子[1]、重藤 寛史[4]

[1]九州大学大学院　医学研究院　神経内科学、[2]九州工業大学大学院　情報工学研究院　知能情報工学研究系、[3]九州大学病院　ARO次世代医療センター、[4]九州大学大学院　医学研究院　保健学部門検査技術科学分野

O2-05　服薬アドヒアランスモニタリングに向けたデジタル内服薬からの非接触磁場検出

○此松 和俊[1,2]、石田 誠[1,3]、窪田 崇秀[3]、我妻 宏[3]、藤原 耕輔[4]、遠藤 基[3]、北條 峻之[3]、松崎 斉[4]、横井 一真[5]、大八木 優[5]、大塚 怜[5]、山根 育郎[5]、Withrington Jonathan[6]、Thompson Todd[6]、神野 淳一[5]、大西 弘二[5]、中里 信和[7]、浮城 一司[1]、神 一敬[1]、大兼 幹彦[3]、安藤 康夫[3]

[1]東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野、[2]東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野、[3]東北大学大学院工学研究科応用物理学専攻、[4]スピンセンシングファクトリー株式会社、[5]大塚製薬株式会社、[6]Otsuka America Pharmaceutical, Inc.、[7]広南病院

O2-06　脳波自動判読プログラムの validation: 専門医視察判読との比較

○戸島 麻耶[1,2,3]、邉見 名見子[2,3]、宮崎 健輔[3]、小野 通夫[3]、友田 陽子[2,3]、池田 直廉[4]、杉 剛直[5]、西田 茂人[6]、長峯 隆[7]、小島 康祐[3]、神藏 祐介[8]、松橋 眞生[9]、松本 理器[1,10]、池田 昭夫[2,10]

[1] 京都大学大学院医学研究科　臨床神経学、[2] 医仁会武田総合病院　脳神経内科てんかん診療センター、[3] 医仁会武田総合病院　脳神経内科、[4] 医仁会武田総合病院　脳神経外科、[5] 佐賀大学　理工学部　工学系研究科システム制御・生体医工学、[6] 元　福岡工業大学　情報工学部　情報通信工学科、[7] 恒心会おぐら病院　脳神経内科、[8] 日本光電工業株式会社　脳神経事業統括部、[9] 神戸大学大学院医学系研究科　医療創成工学専攻 医療機器学講座、[10] 京都大学大学院医学研究科　てんかん・運動異常生理学

O2-07　音声・顔面動画のマルチモーダル統合解析による、大脳基底核・小脳障害患者の発話特性の評価と分類精度の検討

○小谷 理紗[1]、瀬戸 瑛子[1,2]、海永 光洋[1]、代田 悠一郎[1,3]、長島 優[4]、小野寺 宏[5]、矢谷 浩司[6]、濱田 雅[1]

[1] 東京大学大学院医学系研究科　神経内科学、[2]JR 東京総合病院 リハビリテーション科、[3] 東京大学医学部附属病院　検査部、[4] 浜松医科大学　光医学総合研究所　光トランスレーショナルリサーチ推進部門 光生体医工学分野、[5] 自治医科大学医学部病理学講座　包括病態病理学部門、[6] 東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻

一般演題（口演）5　てんかん（1）

11 月 13 日（金）　10:10 ～ 10:42（第 6 会場）

座長：前垣 義弘（鳥取大学 脳神経医科学講座 脳神経小児科学分野）

O2-08　頭蓋内電極記録における発作前変化の統計数理解析

○岡崎 彰良[1]、松本 航[2,3]、中島 聡史[4]、山田 絵美[5]、迎 伸孝[6]、酒田 あゆみ[3,7]、重藤 寛史[2,7]、川野 秀一[8]

[1] 統計数理研究所 統計基盤数理研究系、[2] 九州大学 大学院医学研究院神経内科学、[3] 九州大学病院 検査部、[4] 九州大学 大学院マス・フォア・イノベーション連係学府、[5] 新潟医療福祉大学 医療情報経営学部 健康データサイエンス学科、[6] 九州大学 大学院医学研究院脳神経外科、[7] 九州大学大学院医学系学府 保健学部門 検査技術科学分野、[8] 九州大学 大学院数理学研究院

O2-10　睡眠紡錘波から考察する迷走神経刺激療法の作用機序

○関口 郁奈子、中島 翠、山田 聡、後藤 健、中久保 佐千子、植田 佑樹、江川 潔
北海道大学病院　小児科

O2-11　焦点てんかんにおける発作時意識保持機構の解明
—意識障害に対する視床ニューロモデュレーションを見据えて—

○高山 裕太郎[1,2]、上原 一将[3]、Karim Mithani[1]、本田 純也[1,3]、北城 圭一[4,5]、岩崎 真樹[6]、山本 哲哉[1]、Hiroshi Otsubo[1]、Ayako Ochi[1]、George Ibrahim[1]

[1] トロント小児病院　附属研究所　ニューロサイエンス部門、[2] 横浜市立大学 大学院医学研究科 脳神経外科、[3] 豊橋技術科学大学　情報・知能工学系、[4] 生理学研究所　システム脳科学研究領域　神経ダイナミクス研究部門、[5] 総合研究大学院大学　先端学術院　生理科学コース、[6] 国立精神・神経医療研究センター病院　脳神経外科

O2-12　超難治性てんかん重積状態に対し外科治療を要した症例の臨床像と発作時脳波所見の検討

○迎 伸孝[1]、桑原 和久[1]、下川 能史[2]、向野 隆彦[3]、渡邉 恵利子[4]、酒田 あゆみ[4,5]、森岡 隆人[6]、重藤 寛史[3,5]、吉本 幸司[1]

[1]九州大学大学院医学研究院脳神経外科、[2]新古賀病院　脳神経外科、[3]九州大学大学院医学研究院脳神経内科、[4]九州大学病院　検査部、[5]九州大学大学院医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野、[6]蜂須賀病院　脳神経外科

一般演題（口演）6　脳波一般・二次解析

11月13日（金）　11:00 ～ 11:56（第6会場）

座長：重藤 寛史（九州大学 医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野）

O2-13　高密度脳波データにおける網羅的サンプルエントロピー解析を用いた非侵襲的言語優位半球評価の試み

○川内 雄太[1,2]、佐藤 洋輔[1,3]、田中 宏浩[3]

[1]昭和医科大学　脳神経外科学講座、[2]柏たなか病院　脳神経外科、[3]昭和医科大学脳機能解析・デジタル医科学研究所

O2-14　幻肢痛に特徴的な安静時脳波ネットワーク
－ Sensorimotor network と Triple network の異常な結合－

○大住 倫弘[1]、住谷 昌彦[3]、高村 優作[3,4]、森川 雄生[1]、佐々木 遼[2]

[1]畿央大学大学院健康科学研究科、[2]畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター、[3]東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部、[4]Paris Brain Institute

O2-15　発作間欠期棘波と皮質皮質間誘発電位の伝播動態類似度による棘波発生源推定

○三橋 匠[1]、鈴木 皓晴[1,2]、上田 哲也[1,2]、西岡 和輝[1,2]、野村 和希[1,2]、高木 悠輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、中島 円[1,2]、菅野 秀宣[1,2]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1]順天堂大学医学部脳神経外科、[2]順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター

O2-16　施設間差の影響を受けにくい脳波ノルマティブモデルの構築

○宮地 渚[1]、田村 俊介[1]、樋口 悠子[2]、藤元 貴子[1]、三笘 良[4]、中島 振一郎[3]、高橋 努[2]、平野 羊嗣[1]

[1]宮崎大学　医学部　臨床神経科学講座　精神医学分野、[2]富山大学 学術研究部医学系 神経精神医学講座、[3]慶應義塾大学　医学部 精神・神経科学教室、[4]九州大学病院 精神科神経科

O2-17　嗅覚刺激による脳活動、認知機能への影響

○高阪 勇輔[1]、小倉 礼[1,2]、田中 まゆ[1]、鈴木 将史[1]、武重 万里子[1]、森田 萌丹[1]、大橋 美沙[1]、杉浦 宗次郎[3]、船戸 美希[3]、小林 憲正[3]、田中 敬子[3]、バガリナオ エピファニオ[2]、寶珠山 稔[2]、勝野 雅央[1]

[1]名古屋大学大学院　医学系研究科　神経内科学、[2]名古屋大学　脳とこころの研究センター、[3]トヨタ自動車株式会社

O2-18　Phase-Amplitude Coupling および機能的結合解析による欠神発作時ネットワーク動態の解明

○上田 哲也[1]、西岡 和輝[1,2]、野村 和希[1,2]、三橋 匠[1,2]、鈴木 皓晴[1,2]、菅野 秀宣[2,3]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1]順天堂大学、[2]順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター、[3]スガノ脳神経外科クリニック

O2-19　認知機能ドメインと対応する脳波特徴量の抽出

○甲田 一馬[1]、森本 耕平[2,5]、沖 侑大郎[3]、熊谷 諒子[4]、千原 典夫[5]、古和 久朋[4]、松本 理器[1]

[1]京都大学大学院医学研究科　臨床神経学、[2]神戸大学大学院医学系研究科　バイオリソース・ヘルスケア統合解析科学、[3]神戸大学大学院医学系研究科　未来社会医学専攻、[4]神戸大学大学院医学研究科　健康科学専攻、[5]神戸大学大学院医学系研究科　脳神経内科学

一般演題（口演）7　意識障害（神経救急・脳死を含む）

11月13日（金）　13:10 ～ 14:06（第6会場）

座長：向野 隆彦（九州大学大学院医学研究院 神経内科学）

O2-20　通常脳波検査で非けいれん重積状態と診断された認知症患者4例

○村岡 範裕[1,2]、川場 知幸[1,2]、古田 啓一郎[1,2]、坂田 清彦[2]

[1]社会保険田川病院　脳神経外科、[2]久留米大学医学部　脳神経外科

O2-21　心肺停止蘇生後の意識障害患者における脳波所見と神経学的予後の検討

○岡橋 友美子[1]、竹本 聖[2]、杉町 仁[3]、鈴木 奏穂[3]、赤井 千秋[3]、原田 直宏[3]、今西 佑季[3]、林田 英子[3]、原田 譲[3]、安宅 一晃[2]、中村 文彦[2]、川原 誠[1]

[1]奈良県総合医療センター　脳神経内科、[2]奈良県総合医療センター　集中治療科、[3]奈良県総合医療センター　臨床検査部

O2-22　Critical Care EEG: 非けいれん性てんかん重積検出の実際

○大友 智[1]、加藤 量広[2]、三浦 祐太郎[3]、小野寺 隼人[3]、井上 敬[1]、庄司 薫[1]

[1]みやぎ県南中核病院　脳神経外科、[2]みやぎ県南中核病院　脳神経内科、[3]みやぎ県南中核病院　検査診療部　検査部

O2-23　脳波ノルマティブモデルを用いた敗血症関連せん妄症状の個別評価

○東雲 崇之[1]、田村 俊介[2]、宮地 渚[2]、藤元 貴子[2]、梅北 邦彦[3]、樋口 悠子[4]、中島 振一郎[5]、落合 秀信[1]、平野 羊嗣[2]

[1]宮崎大学　医学部　病態解析医学講座　救急・災害医学分野、[2]宮崎大学　医学部　臨床神経科学講座　精神医学分野、[3]宮崎大学　医学部　内科学講座　呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科分野、[4]富山大学　学術研究部医学系　神経精神医学講座、[5]慶應義塾大学　医学部　精神・神経科学教室

O2-24　けいれん性てんかん重積状態における視床枕DWI高信号の臨床的意義：
非けいれん性てんかん重積状態への移行との関連

○上利 大、土本 猛寛、小谷 楓子、木本 和希、大野 成美、渡邉 友彬、江藤 太、河野 智之、上野 弘貴、野村 栄一

広島市立広島市民病院　脳神経内科

O2-25　Ictal-Interictal Continuumにおける退院時神経学的予後と病因の関連：
多施設共同レジストリ研究

○佐藤 達哉[1]、音成 秀一郎[2]、大野 成美[2]、松原 崇一朗[3]、十河 正弥[4]、芦崎 太一朗[4]、大山 哲弥[5]、池田 宗平[6]、松浦 啓[7]、赤松 伸太郎[8]、柴田 治人[9]、寺澤 由佳[1]

[1]脳神経センター大田記念病院　脳神経内科、[2]広島大学病院　脳神経内科、[3]熊本大学病院　脳神経内科、[4]神戸大学医学部附属病院　脳神経内科、[5]市立四日市病院　脳神経内科、[6]関西医科大学附属病院　脳神経内科、[7]京都第二赤十字病院　脳神経内科、[8]聖マリアンナ医科大学病院　脳神経内科、[9]名古屋市立大学医学部附属東部医療センター　脳神経内科

O2-26　救急集中治療領域における緊急脳波検査の 10 年間の実態評価

○野崎 晶太[1,2]、音成 秀一郎[3]、石橋 はるか[3]、小山 由実[1,2]、入江 亜美[1,2]、荒瀬 隆司[1,2]、茂久田 翔[1]

[1] 広島大学病院　検査部、[2] 広島大学病院　診療支援部、[3] 広島大学病院　脳神経内科

一般演題（口演）8　てんかん（2）

11 月 13 日（金）　14:20 ～ 15:16（第 6 会場）

座長：赤松 直樹（国際医療福祉大学 医学部脳神経内科）

O2-27　Ictal-Interictal Continuum（IIC）を呈した脳卒中関連てんかん発作の臨床的特徴と予後

○川上 治、加藤 隼康、岸本 祥之、伊藤 雅也、伊藤 峻一郎、川島 知浩、反頭 康裕、近藤 圭祐、榊原 颯介、宮田 花梨、古池 保雄

安生更生病院　脳神経内科

O2-28　てんかん患者と失神患者との頭皮上脳波検査所見の比較

○進村 光規、角 健次朗、西原 拓弥、田代 匠、司城 昌大、高瀬 敬一郎

飯塚病院脳神経内科

O2-29　睡眠時随伴症を疑われた成人てんかん例の検討

○庄子 泰代、香坂 雅子、水井 美樹、福田 紀子、石金 朋人

特定医療法人朋友会　石金病院

O2-30　光刺激時の harmonics は良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん（BAFME）の脳波バイオマーカー候補となりうる

○真田 悠希[1]、戸島 麻耶[2,3]、宇佐美 清英[2,4]、甲田 一馬[1]、小林 勝哉[1,2]、松橋 眞生[1,5]、池田 昭夫[1,6]、松本 理器[1]

[1] 京都大学大学院　医学研究科　臨床神経学、[2] 京都大学医学部附属病院　脳神経内科、[3] 京都大学大学院　医学研究科　呼吸管理睡眠制御学、[4] 京都大学大学院　医学研究科　臨床病態検査学、[5] 神戸大学大学院　医学系研究科　医療創成工学専攻　医療機器学講座、[6] 医仁会　武田総合病院　脳神経内科　てんかん診療センター

O2-31　長時間ビデオ脳波でみた成人ダウン症候群における臨床脳波的特徴

○曽我 天馬、曽我 海馬、荒谷 菜海、大槻 泰介、曾我 孝志

てんかん専門病院ベーテル　てんかん内科

O2-32　側頭葉てんかんにおける長期遅延後記憶保持の特徴—modified RBANS を用いた探索的検討

○萩原 真斗[1,2,3]、川口 典彦[1]、西田 拓司[1]、増井 永実[4]、笠井 良修[4]、松井 三枝[5]、土井 宏[2]、田中 章景[2]、臼井 直敬[1]

[1]NHO　静岡てんかん・神経医療センター　てんかん科、[2] 横浜市立大学大学院医学研究科　神経内科学・脳卒中医学、[3] 平塚共済病院　脳神経内科、[4]NHO　静岡てんかん・神経医療センター　心理発達支援室、[5] 新潟医療福祉大学　心理・福祉学部　心理健康学科

O2-33　欠神てんかん患者を対象とした頭皮上脳波における ictal DC shift と棘徐波複合との関連

○前田 圭介[1]、山口 峻汰[2]、坪井 日茉里[3]、細田 奈未[3]、福本 純一[3]、藤田 志保[3]、市野 直浩[1,2]、刑部 恵介[1,2]、杉本 恵子[2,4]、古川 源[5]、石原 尚子[5]

[1] 藤田医科大学　医療科学部　生体機能解析学分野、[2] 藤田医科大学大学院　医療科学研究科、[3] 藤田医科大学病院　臨床検査部、[4] 藤田医科大学　医療科学部　教育企画分野、[5] 藤田医科大学　医学部　小児科学

一般演題（口演）9　てんかん（3）

11 月 13 日（金）　15:30 ～ 16:18（第 6 会場）

座長：稲次 基希（東京科学大学 脳神経外科）

O2-34　SEEG で同定された発作焦点に対する定位温熱凝固術による治療戦略

○白水 洋史[1,2,3]、萩原 綱一[3,4]、上原 平[3,4]、三好 絢子[3,4]、山口 高弘[3,4]

[1] 福岡山王病院　脳神経外科、[2] 福岡山王病院　機能脳神経外科センター、[3] 福岡山王病院　てんかん・すいみんセンター、[4] 福岡山王病院　脳神経内科

O2-35　SEEG 留置後に認められる implantation/microlesion effect の臨床的検討

○野村 和希[1,2]、鈴木 皓晴[1,2]、三橋 匠[1,2]、上田 哲也[1,3]、西岡 和輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、菅野 秀宣[1,2,4]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1] 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター、[2] 順天堂大学医学部脳神経外科、[3] 順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経外科、[4] スガノ脳神経外科クリニック

O2-36　SEEG ダイナミックトラクトグラフィーによる多様な脳領域および病因の発作間欠期てんかん性放電信号源推定

○三橋 匠[1,2]、鈴木 皓晴[1,2]、上田 哲也[1,2]、西岡 和輝[1,2]、野村 和希[1,2]、高木 悠輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、中島 円[1,2]、菅野 秀宣[1,2]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1] 順天堂大学医学部脳神経外科、[2] 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター

O2-37　SEEG を用いたてんかん発作起始推定における Human-in-the-Loop 型パラメータ最適化

○濱崎 一[1,2]、藤原 幸一[1,3]、石崎 友崇[2]

[1] 奈良先端科学技術大学院大学　附属メディカルクス研究センター、[2] 名古屋大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学、[3] 北海道大学　電子科学研究所

O2-39　SEEG 皮質刺激で誘発される Afterdischarge の局在診断的意義

○横佐古 卓、神部 茉由、久保田 有一

東京女子医科大学附属足立医療センター　脳神経外科

O2-40　SEEG を用いた側頭葉てんかん発作前ネットワーク動態の時空間因果性解析

○折原 あすみ[1]、稲次 基希[1]、小池 康晴[2]

[1] 東京科学大学脳神経外科、[2] 東京科学大学 総合研究院

一般演題（口演）10　精神疾患

11 月 14 日（土）　8:30 ～ 9:26（第 6 会場）

座長：志賀 哲也（福島県立医科大学 神経精神医学講座）

O3-01　脳波複雑性に基づく統合失調症の NMDA 受容体関連バイオタイプの探索

○玉田 達大[1]、田村 俊介[1]、鴻池 菜保[2]、中島 振一郎[3]、樋口 悠子[4]、平野 羊嗣[1]

[1] 宮崎大学　医学部　臨床神経科学講座　精神医学分野、[2] 京都大学　白眉センター、[3] 慶應義塾大学　医学部　精神神経科、[4] 富山大学　学術研究部医学系　神経精神医学講座

O3-02　認知機能と脳ネットワーク構造のスモールワールド特性の関連
―安静時脳波を用いた疾患横断的解析―

○佃 万里、池田 俊一郎、加藤 正樹

関西医科大学総合医療センター　精神神経科

O3-03　アジア国際 TMS レジストリを利活用した後方視的観察研究 2026

○野田 賀大
国際医療福祉大学　三田病院

O3-04　治療抵抗性うつ病における mECT 前後のラウドネス依存性聴覚誘発電位の変化

○藤田 貢平[1]、杉本 裕子[1]、藤田 雄輝[3]、山羽 亜実[3]、葛西 彩理[3]、宮田 淳[1]、西原 真理[2]
[1]愛知医科大学　精神科学講座、[2]愛知医科大学病院　いたみセンター、[3]愛知医科大学病院　臨床検査部

O3-05　統合失調症における持続長ミスマッチ陰性電位と意味記憶の関係

○和田 歩[1]、星野 大[2]、吉村 直記[3]、住吉 太幹[1]
[1]国立精神・神経医療研究センター　精神保健研究所　児童・予防精神医学研究部、[2]福島県立医科大学　医学部　神経精神医学講座、[3]国立精神・神経医療研究センター　病院　精神リハビリテーション部

O3-06　強迫性スペクトラム障害へのドパミン作動性薬物治療：機能性ジストニア

○松本 真一[1]、小泉 英貴[1]、島津 秀紀[2]、後藤 恵[2]
[1]大阪脳神経外科病院　脳神経内科、[2]武庫川女子大学　薬学部・病態生理学講座

O3-07　統合失調症の早期段階における 40Hz 聴性定常反応（ASSR）の縦断的変化

○塩田 怜士[1]、切原 賢治[1,2]、岸上 泰己[1,2]、越山 太輔[1]、笠井 清登[1]
[1]東京大学医学部附属病院　精神神経科、[2]東京大学多様性包摂共創センター

一般演題（口演）11　リハビリテーション

11 月 14 日（土）　8:30 ～ 9:26（第 7 会場）

座長：寺田 さとみ（杏林大学 医学部　病態生理学）

O3-08　単回の有酸素運動が失語症患者の神経活動および言語機能に与える効果：
ランダム化クロスオーバー試験

○高津 亘広[1,2]、川上 途行[2,3]、岩間 清太朗[4]、天野 麻理子[1,2]、徳山 明子[2]、近藤 国嗣[2,3]、
辻 哲也[3]
[1]慶應義塾大学　大学院　医学研究科、[2]東京湾岸リハビリテーション病院　リハビリテーション科、[3]慶應義塾大学　医学部　リハビリテーション医学教室、[4]慶應義塾大学　理工学部　生命情報学科　リハビリテーション神経科学研究室

O3-09　脳卒中後手指感覚機能不全者に対する振動フィードバックの介入効果検証
－多層ベースライン法を用いて－

○北井 拳[1,2]、西ヶ谷 嘉一[3]、溝本 恭久[4]、伊藤 大輝[5]、兒玉 隆之[6]
[1]京都橘大学　健康科学研究科　健康科学部、[2]舞鶴赤十字病院リハビリテーション科、[3]善常会リハビリテーション病院、[4]渡辺病院、[5]近江温泉病院、[6]京都橘大学　健康科学研究科　健康科学部

O3-10　リズム聴覚刺激が歩行周期依存的な脳－筋連関に及ぼす影響

○野嶌 一平[1]、松井 佑介[2]、美馬 達哉[3]、植木 美乃[4]
[1]名古屋市立大学医学部保健医療学科リハビリテーション学選考、[2]東海国立大学機構 糖鎖生命コア研究所 統合生命医科学糖鎖研究センター、[3]立命館大学大学院 先端総合学術研究科、[4]名古屋市立大学 医学研究科 リハビリテーション医学分野

O3-11　光ポンピング脳磁計による把握運動のイメージおよび準備動作中の脳活動評価

○高橋 香穂[1,2]、渡辺 隼人[3,4]、下條 暁司[4]、酒井 弘[5]、齊藤 卓弥[6]、横澤 宏一[4]

[1]北海道大学大学院保健科学院、[2]社会医療法人医仁会中村記念南病院、[3]情報通信研究機構未来ICT研究所脳情報通信融合研究センター、[4]北海道大学大学院保健科学研究院、[5]早稲田大学理工学術院、[6]北海道大学病院子どものこころと発達センター

O3-12　純粋小脳型の遺伝性脊髄小脳変性症ではサッカードの順応は保たれているか

○寺田 さとみ[1]、冨樫 尚彦[2]、市川 弥生子[3]、花島 律子[4]、長谷川 一子[2]、濱田 雅[5]、宇川 義一[1,6,7]、寺尾 安生[1]

[1]杏林大学　病態生理学、[2]国立相模原病院　脳神経内科、[3]杏林大学　脳神経内科学、[4]鳥取大学　脳神経内科、[5]東京大学　脳神経内科、[6]福島県立医科大学　システム神経科学、[7]福島病院脳神経内科

O3-13　経頭蓋交流刺激と神経筋電気刺激の併用による慢性期脳卒中重度上肢麻痺リハビリテーション治療

○田代 祥一[1,2]、武見 充晃[3]、山田 深[1]、辻 哲也[2]

[1]杏林大学医学部リハビリテーション医学教室、[2]慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室、[3]広島大学先進理工系科学研究科

O3-14　手掌への振動刺激による皮質脊髄興奮性の経時的変化

○黒仁田 武洋[1]、衛藤 誠二[2]、河村 健太郎[2]

[1]鹿児島大学病院　リハビリテーション部、[2]鹿児島大学院　医歯学総合研究科　リハビリテーション医学

一般演題（口演）12　脳機能解析

11月14日（土）　9:40 ～ 10:36（第6会場）

座長：小林 勝哉（京都大学 医学部附属病院脳神経内科）

O3-15　指タイピングBCIにより明らかとなった技能獲得関連神経活動変化

○橋本 洋章[1,2,3]、Jude Justin J.[3,4]、Levi-Aharoni Hadar[3,4]、Williams Ziv M.[5]、Simeral John D.[4]、Hochberg Leigh R.[3,4]、Rubin Daniel B.[3]

[1]兵庫県立西宮総合医療センター　脳神経外科、[2]大阪大学大学院医学系研究科　脳機能診断再建学共同研究講座、[3]Massachusetts General Hospital, Department of Neurology, Center for Neurotechnology and Neurorecovery、[4]Brown University, School of Engineering、[5]Massachusetts General Hospital, Department of Neurosurgery

O3-16　海馬シータ・ガンマ位相コーディングは順序記憶情報処理に関わる：定位的頭蓋内脳波研究

○武山 博文[1]、甲田 一馬[1]、宇佐美 清英[2]、小林 勝哉[1]、澤田 眞寛[3]、菊池 隆幸[3]、松本 理器[1]

[1]京都大学　大学院医学研究科　臨床神経学、[2]京都大学　大学院医学研究科　検査部、[3]京都大学　大学院医学研究科　脳神経外科学

O3-17　PCC − mPFC結合を標的としたMEGニューロフィードバックによる運動系列学習の改善

○川添 隆伸[1,2]、ワン ユーハオ[2,3]、福間 良平[2]、高橋 正紀[1]、柳澤 琢史[2]

[1]大阪大学大学院　医学系研究科　保健学専攻、[2]大阪大学大学院　医学系研究科　神経情報学、[3]Beijing Institute of Technology, School of Computer Science & Technology

O3-18　SMA 前頭内側結合障害における運動開始・発話開始障害の回復代償経路の検討

○安栄 良悟

森山病院　脳神経外科

O3-19　発作間欠期てんかん性放電による脳機能階層構造の変容：皮質脳波機能的勾配解析

○上原 平[1,2]、岡留 敏樹[3]、向野 隆彦[4]、重藤 寛史[4]、迎 伸孝[5]、酒田 あゆみ[6]、萩原 綱一[2]

[1]国際医療福祉大学　脳神経内科、[2]福岡山王病院　てんかん・すいみんセンター、[3]宮崎県立宮崎病院　脳神経内科、[4]九州大学　脳神経内科、[5]九州大学　脳神経外科、[6]九州大学病院　検査部

O3-20　言語ネットワーク情報流のダイナミックトラクトグラフィー

○園田 真樹[1]、藤井 啓太[1]、會見 比佐夫[1]、黒田 直生人[2]、高山 裕太郎[1]、池谷 直樹[1]、山本 哲哉[1]、浅野 英司[2]

[1]横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学、[2]ウェイン州立大学医学部、デトロイトメディカルセンター ミシガン小児病院 神経内科学講座

O3-21　展望記憶に対するリアルタイム fMRI ニューロフィードバック介入の有効性と汎化可能性の検討

○武田 さより、高野 弘二、中村 仁洋

国立障害者リハビリテーションセンター研究所　脳機能系障害研究部　脳神経科学研究室

一般演題（口演）13　術中モニタリング

11 月 14 日（土）　9:40 ～ 10:36（第 7 会場）

座長：川端 茂徳（東京科学大学 先端技術医療応用学講座）

O3-22　脊椎手術時運動誘発電位モニタリングに潜む滑走電流の影響

○松岡 龍太[1]、竹島 靖浩[1]、高谷 恒範[2]、宮林 知誉[3]、森崎 雄大[1]、林 浩伸[2]、川口 昌彦[2]、中川 一郎[1]

[1]奈良県立医科大学　脳神経外科、[2]奈良県立医科大学　麻酔科、[3]奈良県立医科大学　臨床検査部

O3-23　聴神経腫瘍摘出時における聴性脳幹反応（ABR）と蝸牛神経背側核活動電位（DNAP）の併用

○山下 雅水[1]、吉實 純子[1]、菊山 薫[2]、佐野 史弥[2]、野村 俊介[2]、鮫島 哲朗[2]

[1]東京逓信病院　臨床検査科　生理機能検査室、[2]東京逓信病院　脳神経外科

O3-24　プロポフォール麻酔下 SEP における anesthetic fade の検討

○鷺谷 万葉[1]、佐々木 達也[2]、加藤 佑梨[1]、林崎 一樹[1]、高橋 良太[1]、跡邊 珠里[1]、工藤 朋宏[1]、小笠原 直希[1]、清水 裕也[1]、中鉢 亮[1]、鈴木 雅和[1]、斉藤 遼[2]、宮田 知昌[2]、高橋 義晴[2]、三月田 祐平[2]、伊藤 明[2]、遠藤 俊毅[2]

[1]東北医科薬科大学病院 臨床工学部、[2]東北医科薬科大学 脳神経外科

O3-25　三叉神経第一枝刺激オトガイ筋記録電位（blink synkinesis）の意義
－異常筋反応（AMR）と同時に消失した片側顔面痙攣の 8 例 -

○林崎 一樹[1]、鷺谷 万葉[1]、小笠原 直希[1]、清水 裕也[1]、中鉢 亮[1]、鈴木 雅和[1]、高橋 義晴[2]、三月田 祐平[2]、伊藤 明[2]、佐々木 達也[2]、遠藤 俊毅[2]

[1]東北医科薬科大学病院　臨床工学部、[2]東北医科薬科大学　脳神経外科

O3-26　NDB オープンデータを用いた術中神経モニタリング（K930）の算定実態：
2015-2023 年度の全国トレンドと地域格差
○安田 明正[1]、吉田 剛[2]、後迫 宏紀[3]、高橋 雅人[4]、川端 茂徳[5]、安藤 宗治[6]、今釜 史郎[7]
[1]国立病院機構　埼玉病院　整形外科、[2]浜松医療センター　整形外科、[3]浜松医科大学　整形外科学講座、[4]杏林大学　整形外科学教室、[5]東京科学大学　整形外科学講座、[6]和歌山労災病院　整形外科、[7]名古屋大学　整形外科学講座

O3-27　SPECT を用いた脳循環予備脳評価による頚動脈内膜剥離術中の体性感覚誘発電位振幅低下のリスク因子の解析
○山内 崇弘[1]、稲次 基希[1]、橋本 聡華[1]、阿部 大数[1]、斉藤 修[2]、稲垣 徹[2]、入江 伸介[3]、齊藤 孝次[2]
[1]東京科学大学病院　脳神経外科、[2]釧路孝仁会記念病院　脳神経外科、[3]札幌孝仁会記念病院　脳神経外科

O3-28　脳腫瘍手術における術中皮質刺激 MEP の増幅方法に関する検討
○松田 良介[1]、井澤 和美[2]、高谷 恒範[3]、林 浩伸[4]、上野 勝也[1]、埜中 正博[1]
[1]関西医科大学　脳神経外科、[2]関西医科大学　整形外科、[3]奈良県立医科大学附属病院　中央手術部、[4]奈良県立医科大学　麻酔科学教室

一般演題（口演）14　末梢神経・神経筋接合部・筋疾患

11 月 14 日（土）　10:50 ～ 11:46（第 6 会場）

座長：髙橋 正紀（大阪大学 生体病態情報科学講座　臨床神経生理学）

O3-29　末梢神経伝導検査とスドスキャンによる糖尿病性足皮膚潰瘍発生リスクの評価
○馬場 正之[1]、羽賀 理恵[2]、上野 達哉[2]、松井 淳[3]、川嶋 詳子[3]、鈴木 千恵子[4]
[1]ときわ会病院　脳神経内科、[2]青森県立中央病院　脳神経内科、[3]青森県立中央病院　脳糖尿病センター、[4]弘前大学　脳神経内科

O3-30　COVID-19 パンデミック前後でのギラン・バレー症候群スペクトラムの病型変化
○太田 和馬、幸原 伸夫、石井 淳子、吉村 元、川本 未知
神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

O3-31　神経磁界計測を用いた手根管症候群患者の神経機能評価：
正中神経肘部刺激法と指神経刺激法との比較
○山本 貴瑛[1]、佐々木 亨[2]、川端 茂徳[3]、大谷 泰[3]、田村 聡至[1]、吉井 俊貴[1]
[1]東京科学大学　整形外科学分野、[2]東京科学大学　運動器機能形態学講座、[3]東京科学大学　先端技術医療応用学講座

O3-32　電気生理学的検査項目に基づく糖尿病性多発神経障害新簡易診断基準の検証
○柴田 由加、姫野 龍仁、茂木 幹雄、速水 智英、下田 博美、加藤 誠、三浦 絵美梨、森下 啓明、近藤 正樹、神谷 英紀
愛知医科大学　医学部　内科学講座　糖尿病内科

O3-33　僧帽筋 CMAP 遠位潜時の脱髄性ニューロパチー同定への適用
○大崎 裕亮[1,2]、谷 美紀[2]、花田 健太[2]、高原 実香[2,3]、山崎 博輝[2]、和泉 唯信[2]
[1]徳島県立中央病院　脳神経内科、[2]徳島大学病院　脳神経内科、[3]国立病院機構とくしま医療センター西病院　脳神経内科

O3-34　神経磁界計測による梨状筋症候群の診断の有用性の検討

○小野 直登[1]、朴 正旭[1]、川島 康輝[1]、井澤 和美[1]、谷 陽一[1]、石原 昌幸[1]、幸原 伸夫[1]、齋藤 貴徳[2]、森田 充浩[1]

[1]関西医科大学附属病院　整形外科、[2]関西医科大学附属病院　脊椎神経センター

O3-35　筋炎症例における新しい半定量評価スケールの信頼性と臨床指標との相関の検討：日本のコホートにおける validation study

○吉田 剛[1]、山崎 博輝[2]、高松 直子[2]、和泉 唯信[2]

[1]近森病院　脳神経内科、[2]徳島大学　脳神経内科

一般演題（口演）15　術中モニタリング DBS

11 月 14 日（土）　10:50 ～ 11:46（第 7 会場）

座長：細見 晃一（大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学）

O3-36　顔面痙攣に対する脳神経減圧術における術中モニタリングの意義と限界

○平石 哲也、三橋 大樹、小倉 良介、大石 誠

新潟大学脳研究所　脳神経外科

O3-37　全身麻酔下皮質皮質誘発電位を用いた言語モニタリングの汎用性と課題

○本山 靖[1]、濱田 直弥[2]、真住居 美和[2]、宮本 光江[3]、福森 惇司[1]、大西 佐久郁[1]、藤田 大義[1]、下間 惇子[1]、福留 賢二[1]、鄭 倫成[1]、明田 秀太[1]

[1]大阪けいさつ病院　脳神経外科、[2]大阪けいさつ病院　臨床工学科、[3]大阪けいさつ病院　リハビリテーション科

O3-38　運動誘発電位を用いた異常検知モデルによる術中脊髄機能モニタリング支援

○伊達 俊坪[1]、藤原 幸一[1,2,3]、世木 直喜[4]、中島 宏彰[4]、伊藤 定之[4]、大内田 隼[4]、山内 一平[4]、小枝 正汰[2]、今釜 史郎[4]

[1]名古屋大学大学院　工学研究科、[2]北海道大学　電子科学研究所、[3]奈良先端科学技術大学院大学　メディルクス研究センター、[4]名古屋大学大学院　医学系研究科　整形外科学

O3-39　大規模多施設前向き研究に基づく、急性 C5 麻痺検出のための新たな Tc-MEP アラーム基準の策定

○橋本 淳[1,2,3]、川端 茂徳[2,3]、後迫 宏紀[3]、吉田 剛[3]、藤原 靖[3]、荒川 保雄[3]、高橋 雅人[3]、世木 直喜[3]、重松 英樹[3]、山本 直也[3]、岩崎 博[3]、和田 簡一郎[3]、谷口 愼一郎[3]、安藤 宗治[3]、舩場 真裕[3]、山田 圭[3]、森戸 伸治[3]、田所 伸朗[3]、吉井 俊貴[2]、松山 幸弘[3]、今釜 史郎[3]

[1]九段坂病院　整形外科、[2]東京科学大学　整形外科、[3]日本脊椎脊髄病学会　術中脊髄モニタリング委員会

O3-40　FOOOF モデルは STN-LFP における β peak を顕在化する
— adaptive DBS プログラミングへの新たな示唆 —

○鈴木 拓馬[1,3]、高山 裕太郎[1,3]、木村 活生[2,4]、東島 威史[1,3]、安部 克哉[2,4]、川崎 隆[1,3]、田中 章景[4]、坂田 勝巳[1,3]、山本 哲哉[3]

[1]横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経外科、[2]横浜市立大学附属市民総合医療センター脳神経内科、[3]横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学、[4]横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学・脳卒中医学

O3-41　1.5T QSM による視床下核直接同定と術中微小電極記録との空間的一致度：
ロボット支援フレームベース DBS におけるパイロット検討
○伊藤 陽祐[1]、福多 真史[1]、太田 智慶[1,2]、増田 浩[1]、大石 誠[2]
[1] 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科、[2] 新潟大学脳研究所脳神経外科

O3-42　破裂脳動脈瘤クリッピング術における術中 MEP モニタリングの有用性と安全性に関する検討
○横山 昇平[1]、森崎 雄大[1]、中瀬 健太[1]、松岡 龍太[1]、木次 将史[1]、竹島 靖浩[1]、山田 修一[1]、西村 文彦[1]、高谷 恒範[2,3]、林 浩伸[2]、川口 昌彦[2]、中川 一郎[1]
[1] 奈良県立医科大学脳神経外科、[2] 奈良県立医科大学　麻酔科、[3] 奈良県立医科大学付属病院　中央手術部

一般演題（口演）16　TMS

11 月 14 日（土）　13:40 ～ 14:20（第 6 会場）

座長：緒方 勝也（国際医療福祉大学 福岡薬学部）

O3-43　中枢性器質性筋力低下と機能性筋力低下の鑑別における中枢運動伝導時間の有用性
○猪狩 龍佑、石川 舞、佐藤 誠勝、佐藤 大祐、近藤 敏行、佐藤 裕康、太田 康之
山形大学　医学部　内科学第三講座　神経学分野

O3-44　精神疾患治療を目指した電場が最も深達する経頭蓋磁気刺激コイルの開発と電場深達性能の検証
○飯野 杏菜[1]、福地 柊斗[2]、金 慧旻[1]、森 信彦[1,3]、細見 晃一[3]、関野 正樹[1,2]
[1] 東京大学大学院　工学系研究科　バイオエンジニアリング専攻、[2] 東京大学大学院　工学系研究科　電気系工学専攻、[3] 大阪大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学

O3-45　圧センサーアレイを用いた経頭蓋磁気刺激 8 の字コイルの位置評価システムの開発と動作検証
○緒方 勝也[1]、中薗 寿人[2]、東 偉琉[1]、松野 豊[4]、池田 拓郎[3]、後藤 純信[5]
[1] 国際医療福祉大学　福岡薬学部、[2] 福岡国際医療福祉大学　作業療法学科、[3] 福岡国際医療福祉大学　理学療法学科、[4] 国際医療福祉大学　作業療法学科、[5] 国際医療福祉大学　医学部

O3-46　反復 4 連発磁気刺激法（QPS）が下肢一次運動野に及ぼす影響とその個人間変動
○徳田 直希[1]、守安 正太郎[1]、中村 知哉[1]、種田 建太[1]、村上 丈伸[1]、清水 崇宏[2]、宇川 義一[3,4]、花島 律子[1]
[1] 鳥取大学　医学部　医学科　脳神経医科学講座　脳神経内科学分野、[2] 東京都立神経病院　脳神経内科、[3] 福島県立医科大学　医学部　ヒト神経生理学講座、[4]NHO 福島病院　脳神経内科

O3-47　日本人 ALS 患者における抑制 - 促通不均衡と threshold tracking TMS の診断感度
○東原 真奈[1,2]、小森 雄太[2]、吉井 元[2]、舟川 開[2]、山田 一貴[2]、畑中 裕己[3]、園生 雅弘[4]、岩田 淳[2]
[1] 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野、[2] 東京都健康長寿医療センター脳神経内科、[3] 帝京大学医学部脳神経内科、[4] 帝京大学医療技術学部視能矯正学科

一般演題（口演）17　睡眠

11 月 14 日（土）　13:40 ～ 14:36（第 7 会場）

座長：小栗 卓也（公立陶生病院 脳神経内科）

O3-48　レム睡眠行動異常症（RBD）と誤診されてきた呼吸関連運動現象の新たな切り口

○立花 直子[1,2]、奥谷 一真[2,3]、三原 丈直[1,2]、濱野 利明[4,5]

[1] 関西電力病院　睡眠関連疾患センター、[2] 関西電力医学研究所　睡眠医学センター、[3] 関西電力病院　検査部、[4] 関西電力病院　脳神経内科、[5] 関西電力医学研究所　統合生理学研究センター

O3-49　睡眠中の異常行動や不眠の原因特定に終夜睡眠ポリグラフが有用であった自己免疫性脳炎の一例

○三輪 遥香[1]、川口 典彦[2]、小栗 卓也[3]、若松 翼[1]、鈴木 菜摘[1]、佐倉 裕二[1]、松井 一樹[1]、池田 淳司[2]、松平 敬史[2]、臼井 直敬[2]

[1]NHO 静岡てんかん・神経医療センター　検査科、[2]NHO 静岡てんかん・神経医療センター　てんかん科、[3] 公立陶生病院　脳神経内科

O3-50　自宅動画と PSG 所見が診断に有用であったノンレムパラソムニアの 1 例

○和田 晋一[1,2]、三原 丈直[1,2]、杉田 尚子[1,2]、奥谷 一真[2,3]、濱野 利明[1]、立花 直子[1,2]

[1] 関西電力病院 脳神経内科・睡眠関連疾患センター、[2] 関西電力医学研究所　睡眠医学研究部、[3] 関西電力病院　臨床検査部

O3-51　概日・ホメオスタティック因子を考慮した MSLT 評価
―過眠症各群の特性評価と診断的重み付けの提案

○咲間 妙子[1,2,3]、武井 洋一郎[3,4]、金井 芳野[3]、井上 雄一[2,3,4]

[1] 帝京大学医療技術学部臨床検査学科、[2] 東京医科大学睡眠学講座、[3] 神経研究所附属睡眠学研究所、[4] 睡眠総合ケアクリニック代々木

O3-52　携帯型終夜睡眠ポリグラフ検査でみた老年期うつ病の睡眠の特徴

○河合 真

スタンフォード大学　医学部　精神科　睡眠医学部門

O3-53　Nap Titration における睡眠内容が CPAP アドヒアランスに及ぼす影響の検討

○奥谷 一真[1,4]、福田 椋大[1]、丸本 圭一[1]、和田 晋一[2,3,4]、三原 丈直[2,4]、濱野 利明[3,5]、立花 直子[2,4]

[1] 関西電力病院　臨床検査部、[2] 関西電力病院　睡眠関連疾患センター、[3] 関西電力病院　脳神経内科、[4] 関西電力医学研究所　睡眠医学センター、[5] 関西電力医学研究所　統合生理学研究センター

O3-54　夜間睡眠中の聴覚誘発 K 複合波と固有神経時間スケールの関連

○北岡 波琉[1]、島根 大輔[2]、中原 潔[2,3]、竹田 昂典[2]

[1] 高知工科大学大学院 基盤工学専攻、[2] 高知工科大学 総合研究所 脳コミュニケーション研究センター、[3] 高知工科大学 情報学群

一般演題（口演）18　NIBS

11 月 14 日（土）　14:30 ～ 15:10（第 6 会場）

座長：花川 隆（国立大学法人 京都大学 高次脳科学講座 脳統合イメージング分野）

O3-55　線条体を標的とした時間干渉刺激が脳内神経伝達物質ならびに安静時脳機能結合に及ぼす影響

○木村 祥太[1]、松田 浩幸[2,3]、岩根 史明[4,5]、松村 佳奈[6]、藤木 稔[3]、菅田 陽怜[1,6]

[1]大分大学　福祉健康科学部　理学療法コース、[2]大分大学　医学部附属病院　医療情報部、[3]大分大学　医学部　脳神経外科、[4]National Institutes of Health、[5]National Institute of Neurological Disorders and Stroke、[6]大分大学大学院　福祉健康科学研究科

O3-56　神経障害性疼痛患者の一次運動野、島皮質を標的とした経頭蓋集束超音波刺激が皮質興奮性に与える影響

○星隈 悠平、森 信彦、細見 晃一、清水 豪士、Khoo Hui Ming、谷 直樹、貴島 晴彦

大阪大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学

O3-57　リズム処理における経頭蓋超音波刺激の影響

○川上 紗輝[1]、森浦 芳枝[2]、渡辺 大貴[1,3]、岡田 研一[4]、田中 真樹[4]、小金丸 聡子[1,2]

[1]京都大学大学院医学研究科附属　脳機能総合研究センター、[2]大阪医科薬科大学　医学部　総合医学講座　リハビリテーション医学教室、[3]京都大学大学院　医学研究科人間健康科学系専攻、[4]北海道大学大学院医学研究院　神経生理学教室

O3-58　神経障害性疼痛に対する低出力経頭蓋集束超音波刺激の反復介入効果の検討

○森 信彦、星隈 悠平、細見 晃一、清水 豪士、Khoo Hui Ming、谷 直樹、貴島 晴彦

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

O3-59　静磁場曝露がＡδおよびＣ群痛覚神経線維刺激時の痛覚閾値に与える影響

○渡部 征名[1]、伊藤 環[2]、瀬尾 彩葉[1]、木戸 裕之[3]、太田 有紀[3]、楢崎 壮志[3]、堤 保夫[3]、美馬 達哉[4]、桐本 光[1]

[1]広島大学大学院　医系科学研究科　感覚運動神経科学、[2]あま市民病院、[3]広島大学大学院　医系科学研究科　麻酔蘇生学、[4]立命館大学大学院　先端総合学術研究科

English Oral Session　EN

10:50 ～ 11:38, November 14 (Sat.) (Room 5)

Chair：Yu Kitazawa (Yokohama City University Hospital, Clinical Laboratory (Neurology))

EO-01　CMAP is not solely a MUP-added waveform

-A physical re-examination of bipolar potential induction-

○ DAITOKU MISHIMA

独立行政法人国立病院機構　相模原病院　脳神経外科

EO-02 Stable biomarker of migraine by wide-band EEG on the pathophysiology and therapeutic strategies

○ MEGUMI NONAKA[1,2,3]、KIYOHIDE USAMI[4]、YUU TATSUOKA[5]、KYOKO HOSOKAWA[4]、MAYA TOJIMA[2]、KATSUYA KOBAYASHI[2]、MASAO MATSUHASHI[3,6]、DAISUKE DANNO[7]、TAKAO TAKESHIMA[7]、YOSHIHISA TATSUOKA[5]、HIROFUMI MARUYAMA[1]、RIKI MATSUMOTO[2]、AKI OIKEDA[2,3]

[1]Department of Clinical Neuroscience and Therapeutics, Hiroshima University, Graduate School of Biomedical and Health Sciences、[2]Department of Neurology, Kyoto University, Graduate School of Medicine、[3]Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Kyoto University, Graduate School of Medicine、[4]Department of Clinical Laboratory, Kyoto University Hospital、[5]Tatsuoka Neurology Clinic、[6]Department of Medical Device Engineering, Kobe University, Graduate School of Medicine、[7]Department of Neurology, Tominaga Hospital

EO-03 Comparison of Cortical Silent Periods Between Upper- and Lower-Limb Muscles in Healthy Adults

○ RYOTA KUROIWA[1]、KAZUMOTO SHIBUYA[2]、TAKERU NARA[1,2]、ATSUSHI MURATA[1]、SATOSHI KUWABARA[2,3]

[1]Department of Rehabilitation Medicine, Chiba University Hospita、[2]Department of Neurology, Graduate School of Medicine Chiba University、[3]Research Institute of Disaster Medicine, Chiba University

EO-04 Machine Learning Prediction of Postoperative Delirium Using Preoperative EEG and HRV in Oral Surgery Patients

○ HONGYU LIU[1]、Yu Sai[1]、Hitomi Sato[1]、Satsuki Moriya[1]、Aika Yamada[1]、Yu Sasaki[1]、Yuka Fujimoto[1]、Takashi Takeuchi[1]、Hitoshi Muto[1]、Yuji Kabasawa[1]、Hirofumi Tomioka[1]、Hiroyuki Harada[1]、Manabu Kano[2]、Miho Miyajima[1]、Hidehiko Takahashi[1]

[1]Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Institute of Science Tokyo、[2]Kyoto University

EO-05 Impaired Adaptation and Reduced Practice Effect on Prism Adaptation in Multiple System Atrophy

○ KENTA TANEDA[1]、NAOKI TOKUDA[1]、SHOTARO MORIYASU[1]、TOMOYA NAKAMURA[1]、YASUTAKA MASUDA[1]、TAKENOBU MURAKAMI[1]、TAKAHIRO SHIMUZU[2]、YOSHIKAZU UGAWA[3,4]、RITSUKO HANAJIMA[1]

[1]Division of Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University、[2]Department of Neurology, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital、[3]Department of System Neuroscience, Fukushima Medical University、[4]Department of Neurology, NHO Fukushima National Hospital

EO-06 Low-Amplitude Vibration Near 100 Hz Enhances Somatosensory Sensitivity:
A Preliminary Neurophysiological Study

○ YUKO OHNO[1,4]、SHIN'ICH YOSHIMURA[1]、RIKA MORITA[4]、JISAIHAN A[1]、MIYABI TAKAHASHI[4]、AYAKA NAKAYAMA[4]、HINANO YAMAGUCHI[4]、HARUHI MAEHARA[4]、HIROMI FUKUHARA[4]、ZU SOH[2]、KAORI TAMURA[3]、MITSUO TONOIKE[1]

[1]Graduate School of Medicine/Science Engineering, The University of Osaka、[2]Hiroshima University、[3]Kyushu Institute of Technology、[4]Mukogawa Women's University

一般演題（ポスター） 脳波一般（1）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:28（ポスター会場）

座長：萩原 綱一（福岡山王病院 脳神経内科 / てんかん・すいみんセンター）

P1-01　閃輝暗点を呈し，脳波で 3 Hz の slow α variant を認めた 1 例

○大野 遥香[1]、橋本 黎[2]、木村 正夢嶺[2]、芦崎 太一朗[2]、尾谷 真弓[2]、的場 健人[2]、幡中 典子[3]、千原 典夫[2]

[1] 神戸大学医学部附属病院　検査部、[2] 神戸大学大学院医学系研究科　脳神経内科学、[3] 姫路中央病院　神経内科

P1-02　在宅長時間脳波記録の臨床実装に向けたヘルメット型脳波計の段階的改良

○浮城 一司[1]、佐藤 美輝[2]、石田 誠[1]、飯島 圭哉[2]、林 貴啓[2]、石川 英治[3]、渋谷 綱士[3]、中村 健太郎[3]、平塚 匡[3]、八木澤 隆[3]、山中 健介[3]、北添 雄眞[3]、岩崎 真樹[2]、神 一敬[1]

[1] 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野、[2] 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科、[3] 住友ベークライト株式会社

P1-03　経皮的酸素飽和度モニターが有用であった心因性非てんかん発作の一例

○小林 華衣[1]、板橋 悠太郎[2]、大畠 浩介[1]、牛木 和美[1]、市野 智子[1]、岡田 顕也[1]、中嶋 清美[1]、常川 勝彦[1]

[1] 群馬大学　医学部附属病院　検査部、[2] 群馬大学医学部附属病院　脳神経外科

P1-04　経時的な脳波記録が臨床に寄与した急性リチウム中毒患者の一症例

○木村 祥[1]、北野 直美[1]、織田 典子[1]、岩田 英紘[1]、杉野 裕志[1]、安井 敬三[2]、寶子山 稔[3]

[1] 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　医療技術部臨床検査科　生体検査課、[2] 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　脳神経内科、[3] 名古屋大学　脳とこころの研究センター

P1-05　代謝性脳症に合併しうる非痙攣性てんかん重積状態の鑑別：
脳波記録時・判読時の臨床検査技師としての工夫と応用

○小山 由実[1,2]、音成 秀一郎[3]、牧 龍我[3]、大野 成美[3]、野崎 晶太[1,2]、入江 亜美[1,2]、荒瀬 隆司[1,2]、茂久田 翔[1]

[1] 広島大学病院　検査部、[2] 広島大学病院　診療支援部、[3] 広島大学病院　脳神経内科

P1-06　位相再構成された強直間代発作時脳波と筋電図は Infra slow activity に近い周波数で同期する

○東 英樹、明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

P1-07　失語症状のみを呈した NCSE の一例

○神部 茉由、横佐古 卓、久保田 有一

東京女子医科大学附属足立医療センター　脳神経外科

P1-08　歯状核赤核・淡蒼球ルイ体萎縮症の病状進行に伴い皮質盲発作が出現した患者の脳波記録

○加藤 幸子[1]、田中 千陽[1]、押田 好美[1]、河島 江美[1]、下河 ナオミ[1]、鈴木 淳子[1]、内田 一弘[1]、小野澤 裕也[2]

[1] 北里大学病院　臨床検査部、[2] 麻布大学　生命・環境科学部

一般演題（ポスター） てんかん（1）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:34（ポスター会場）

座長：宇佐美 清英（京都大学 医学部附属病院 検査部）

P1-09　脳波検査で低周波数帯域を含む閃光刺激により光突発応答を認めた MELAS の一例

○松村 啓汰[1]、高橋 広大[1]、長澤 和樹[1]、原 将人[2]、工藤 正裕[2]、大井 清貴[2]、津田 圭介[2]、高橋 健太[2]、板橋 亮[2]、前田 哲也[2]、藤原 亨[3]

[1] 岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部、[2] 岩手医科大学 医学部 内科学講座 脳神経内科・老年科分野、[3] 岩手医科大学 医学部 臨床検査医学・感染症学講座

P1-10　発作中の不随意運動に関連する脳活動を脳磁図で観察した部分てんかんの 1 例

○木下 真由[1]、矢澤 省吾[1]、武田 紘昌[1,5]、村原 貴史[1]、中尾 紘一[1]、杉本 晶子[1]、鶴田 和仁[1]、濱砂 亮一[2]、八木 和広[3]、松橋 眞生[4]

[1] 潤和会記念病院、[2] 潤和会記念病院　脳神経外科、[3] 潤和会記念病院　臨床検査科、[4] 神戸大学医療機器学講座、[5] 宮崎大学　脳神経内科

P1-11　過呼吸賦活により非けいれん性てんかん重積状態を呈した 1 例

○大西 巧真[1]、陶山 友里[1]、辻 宏樹[1]、松永 真由美[1]、岸戸 紗希[1]、須浪 夏姫[1]、今田 有美子[1]、秋山 麻里[2]、秋山 倫之[2]

[1] 岡山大学病院　医療技術部、[2] 岡山大学病院　小児神経科

P1-12　乳児てんかん性スパズム症候群の頭皮上脳波に認めた ictal DC shift の検討

○山口 峻汰[1]、前田 圭介[2]、坪井 日茉里[3]、細田 奈未[3]、福本 純一[3]、藤田 志保[3]、市野 直浩[1,2]、刑部 恵介[1,2]、杉本 恵子[1,4]、古川 源[5]、石原 尚子[5]

[1] 藤田医科大学大学院　医療科学研究科、[2] 藤田医科大学　医療科学部　生体機能解析学分野、[3] 藤田医科大学病院　臨床検査部、[4] 藤田医科大学　医療科学部　教育企画分野、[5] 藤田医科大学医学部　小児科学

P1-13　発作との関連が明らかでなかった Brief Potentially Ictal Rhythmic Discharges 様波形の 2 例

○三浦 祐太郎[1]、加藤 量広[2]、小野寺 隼人[1]、大友 智[3]

[1] みやぎ県南中核病院　検査部、[2] みやぎ県南中核病院　脳神経内科、[3] みやぎ県南中核病院　脳神経外科

P1-14　難治光過敏性に対して少量のアセタゾラミドが有効であったてんかん患者 5 例

○友田 陽子[1,2]、武山 博文[3]、宇佐美 清英[4]、夏原 聡[3]、小林 勝哉[3]、邉見 名見子[2,5]、小島 康祐[1]、松本 理器[3]、池田 昭夫[2]

[1] 武田総合病院　脳神経内科、[2] 武田総合病院　脳神経内科てんかん診療医療センター、[3] 京都大学大学院医学研究科　臨床神経学、[4] 京都大学医学部附属病院　検査部、[5] 武田総合病院　リハビリテーション科

P1-15　トシリズマブ投与後の脳波変化に基づき鎮静薬を調整した Cryptogenic new-onset refractory status epilepticus（C-NORSE）の一例

○大橋 智仁、七浦 仁紀、桐山 敬生、杉江 和馬

奈良県立医科大学　脳神経内科

P1-16　Faciobrachial dystonic seizures 後に側頭部律動性徐波を反復して認めた抗 LGI1 抗体関連脳炎

○柳澤 輝一、佐藤 慶史郎、荒武 和真、川北 カイキ、青木 聡、石井 辰仁、明神 寛暢、齋藤 拓也、近土 善行、内山 剛

聖隷浜松病院　脳神経内科

P1-17　MEG・SEEG 連動評価による術前診断を経て焦点切除を行った孔脳症随伴てんかんの 1 例

○植田 佑樹[1]、江夏 怜[2]、菅野 彩[2]、越智 典樹[3]、平松 泰好[1]、関口 郁奈子[1]、山田 聡[1]、後藤 健[1]、中久保 佐千子[1]、中島 翠[1]、江川 潔[1]

[1] 北海道大学病院　小児科、[2] 札幌医科大学附属病院　脳神経外科、[3] 北海道大学病院　検査・輸血部

一般演題（ポスター） てんかん（2）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:34（ポスター会場）

座長：榎本 雪（帝京平成大学　健康医療スポーツ学部）

P1-18　当院における海馬硬化症 23 症例の術前・術後の脳波比較

○油川 陽子[1,4]、溝渕 雅広[1,2,4]、石田 裕樹[3,4]、原 敬二[3,4]、中原 岩平[1,4]、五十嵐 奨[1]、阿部 剛典[1]、仁平 敦子[1]、佐光 一也[1]、中村 博彦[3]

[1] 中村記念病院 脳神経内科 、[2] 南一条脳内科、[3] 中村記念病院　脳神経外科、[4] 中村記念病院　てんかんセンター

P1-19　ANT-DBS における電極抵抗値の意味～抵抗値変化と発作・脳波の関係～

○井本 浩哉、野村 貞宏、藤井 奈津美、石原 秀行

山口大学　脳神経外科

P1-20　脳梁離断術後てんかん性スパズムにおける発作症候・脳波非対称性の定量解析

○内田 大貴[1,2]、小野 智憲[1,3]、本田 涼子[3,4]、馬場 史郎[2]、戸田 啓介[5]、松尾 孝之[2]、馬場 啓至[6]

[1] 国立病院機構長崎医療センター　脳神経外科、[2] 長崎大学　脳神経外科、[3] 国立病院機構長崎医療センター　てんかんセンター、[4] 国立病院機構長崎医療センター　小児科、[5] 国立病院機構長崎川棚医療センター　脳神経外科、[6] 西諫早病院　てんかんセンター

P1-21　レノックスガストー症候群の管理　―脳波判読、診断について―

○宮城島 孝昭[1]、井田 久仁子[2]、板橋 悠太郎[3]、平戸 政史[1]、合田 司[1]、高橋 章夫[1]

[1] 渋川医療センター　脳神経外科、[2] 渋川医療センター　てんかんセンター　小児科、[3] 群馬大学医学部附属病院脳神経外科

P1-22　頭蓋内脳波記録の信頼性向上を目指した Cirq-SEEG のレジストレーション精度検証

○毛呂 貴宏[1,2]、園田 真樹[2]、高山 裕太郎[2,3]、池谷 直樹[2]、藤井 啓太[2]、末永 潤[2]、小野寺 英孝[2]、立石 健祐[2]、山本 哲哉[2]

[1] 国立病院機構横浜医療センター脳神経外科、[2] 横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学、[3] 横浜市立大学附属市民総合医療センター脳神経外科

P1-23　迷走神経刺激装置植込み術における術前 MRI を用いた迷走神経位置同定および半自動三次元追跡ソフトウェア開発

○三橋 匠[1]、西岡 和輝[1,2]、鈴木 皓晴[1,2]、上田 哲也[1,2]、野村 和希[1,2]、高木 悠輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、中島 円[1,2]、菅野 秀宣[1,2]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1] 順天堂大学医学部脳神経外科、[2] 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター

P1-24　当院における焦点てんかん外科治療での HFO の有用性と限界

○佐々木 宏典[1,2]、濱岡 敏基[1,2]、水上 萌子[1,2]、松田 綾子[1,2]、橋本 理緒[1,2]、藤附 駿輔[2,3]、長綱 敏和[2,3]、福迫 俊弘[2,4]、藤井 正美[2,3]

[1] 山口県立総合医療センター　中央検査部、[2] 山口県立総合医療センター　てんかんセンター、[3] 山口県立総合医療センター　脳神経外科、[4] 山口県立総合医療センター　脳神経内科

P1-25　顔面症状を呈する Epilepsia partialis continua に対し SEEG 評価に基づく前頭葉離断術を施行した 1 例

○鈴木 皓晴[1,2]、野村 和希[1,2]、三橋 匠[1,2]、上田 哲也[1,2]、西岡 和輝[1,2]、大貫 浩幸[1,2]、菅野 秀宣[1,2,3]、飯村 康司[1,2]、近藤 聡英[1,2]

[1] 順天堂大学　脳神経外科、[2] 順天堂大学医学部附属順天堂医院　てんかんセンター、[3] スガノ脳神経外科クリニック

P1-26　てんかん外科手術における高次脳機能予後の検討

○近藤 綾乃[1,2]、甲斐 恵太郎[1]、公文 将備[1]、中江 俊介[1]、川瀬 希依留[1,2]、廣瀬 雄一[1]

[1] 藤田医科大学病院　脳神経外科、[2] 藤田医科大学　医学部　医学科

一般演題（ポスター）　発達障害

11 月 12 日（木）　14:40 ～ 15:10（ポスター会場）

座長：岡西 徹（鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経小児科学分野）

P1-27　不注意症状の鑑別における前頭部 slow spindle の有用性
－日中の眠気（EDS）と不注意優勢 ADHD 児の脳波周波数解析による検討－

○田丸 径[1,2]、渡邉 祐莉子[1]、相原 悠[1]、石井 佐綾香[2]、青柳 閣郎[3]、加賀 佳美[1]

[1] 山梨大学　医学部　小児科、[2] 国立病院機構甲府病院　小児科、[3] 山梨県立あけぼの医療福祉センター　小児科

P1-28　事象関連電位による統語理解発達評価の児童事例検討

○池田 一成[1]、藤村 拓未[1]、村尾 愛美[1]、諏訪園 秀吾[2]、松井 智子[3]

[1] 東京学芸大学、[2] 独立行政法人国立病院機構南京都病院、[3] 中央大学

P1-29　前向き 20 ヶ月後：小児を対象とした変化関連電位による「変化への気づき」獲得の評価

○鈴木 雅也[1]、小崎 瑞貴[1]、水野 嶺[1]、小池 康之[2]、土井 菜摘子[2]、乾 幸二[3]

[1] 東海光学、[2] パイロットコーポレーション、[3] 愛知県医療療育総合センター　発達障害研究所

P1-30　知的障害者における手掌頤反射と実行機能困難

○池田 吉史[1]、橋本 隆男[2]

[1] 東京学芸大学　教育学部、[2] 相澤病院　脳神経内科

P1-31　書字困難を呈する限局性学習症児の視線解析による検討

○青柳 閣郎[1,2]、後藤 裕介[3]、石井 佐綾香[2]、田丸 径[2]、相原 悠[2]、渡邊 祐莉子[2]、加賀 佳美[2]

[1] 山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科、[2] 山梨大学医学部小児科、[3] 山梨県こころの発達総合支援センター

一般演題（ポスター）　磁気刺激・経頭蓋電気刺激

11 月 12 日（木）　14:40 ～ 15:34（ポスター会場）

座長：松本 英之（三井記念病院 脳神経内科）

P1-32　運動・感覚発電位が治療効果判定に有用であった中枢・末梢連合脱髄症（CCPD）の 1 例

○松本 英之[1]、太田 祐輔[1]、倉島 葵[1]、濱田 健介[1]、武藤 多津郎[2]、畑中 裕己[1,3]、内尾 直裕[1]

[1] 三井記念病院　脳神経内科、[2] 藤田医科大学病院　脳神経内科、[3] 帝京大学医学部附属病院　脳神経内科

P1-33　神経発達症に対する反復経頭蓋磁気刺激の有効性及び安全性に関する検討 -feasibility study

○土橋 里美[1]、平島 温也[2]、森 信彦[4]、岩谷 祥子[1,5]、松本 恵[1,3]、山田 貴志[1,2]、木村 亮[1,2]、髙橋 隼[2]、細見 晃一[4]、北畠 康司[5]、下野 九理子[1,5]

[1]大阪大学大学院連合小児発達学研究科、[2]大阪大学大学院医学系研究科　精神医学教室、[3]大阪大学大学院人間科学研究科、[4]大阪大学医学部脳神経外科、[5]大阪大学医学部小児科

P1-34　治療抵抗性うつ病患者に対する経頭蓋反復磁気刺激が認知機能に及ぼす影響

○大西 尚哉[1]、西田 圭一郎[1]、舟橋 敏之[1]、高木 雄貴[1]、今津 伸一[1]、西澤 由貴[1]、青木 悠[1]、杉本 峻也[1]、高山 真衣[1]、春名 帝亮[1]、山根 倫也[2]、川端 康雄[1]、金沢 徹文[1]

[1]大阪医科薬科大学　神経精神医学教室、[2]追手門学院大学　心理学部

P1-35　XR 環境における Embodiment 関連生理応答の頑健性

― 仮想身体位置の変化が皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響 ―

○寺澤 雄太[1,2]、棚町 兼也[1,2]、金子 文成[1,2]

[1]東京都立大学　人間健康科学研究科　理学療法科学域、[2]慶應義塾大学　医学部　リハビリテーション医学教室

P1-36　神経視界計測での健常者坐骨神経の可視化および評価

○川島 康輝[1]、朴 正旭[1]、安藤 宗治[1]、中山 健太郎[2]、幸原 伸夫[1]、森田 充浩[1]、齋藤 貴徳[1]

[1]関西医科大学　整形外科学講座、[2]関西医科大学　脳神経内科

P1-37　脳内機能結合異常を示した難治性機能性振戦に対する r TMS 治療が有効であった 1 例

○太田 吉彦[1]、高橋 千晶[2]、旭 雄士[3,4]、松下 功[2]、田中 隼斗[1]、長崎 翔和[1]、吉野 直美[1]、飯沼 由嗣[5]

[1]金沢医科大学病院　中央臨床検査部、[2]金沢医科大学　リハビリテーション医学科、[3]金沢脳神経外科病院　脳神経外科、[4]聖マリアンナ医科大学　脳神経外科学、[5]金沢医科大学　臨床感染症学

P1-38　中枢および末梢からの同期的神経活動誘発に基づく感覚障害介入手法の検討

○瓜谷 和暉[1]、塙 大樹[2]、山岡 竜也[3]、市村 幸盛[3]、村田 祐樹[3]、櫻田 武[2]、小金丸 聡子[4]、美馬 達哉[5]

[1]成蹊大学　理工学研究科　理工学専攻、[2]成蹊大学　理工学部　理工学科、[3]村田病院、[4]大阪医科薬科大学　医学部総合医学講座　リハビリテーション医学教室、[5]立命館大学

P1-39　一次体性感覚野への経頭蓋直流電気刺激における個人別の電界強度と体性感覚誘発電位の変化の検討

○黒川 凌[1]、松田 裕弥[2]、赤岩 眞悠[3]、菅原 靖[1]、小菅 凜[2]、佐々木 健史[4]、鈴木 淳平[5]、古田 亮一[1]、菅原 和広[4]

[1]札幌柏葉会病院　リハビリテーション科、[2]札幌医科大学大学院　保健医療学研究科、[3]京都大学大学院　医学研究科人間健康科学系専攻、[4]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[5]札幌柏葉会病院　診療技術部　放射線科

P1-40　脳卒中患者における皮質内抑制が麻痺側巧緻動作に及ぼす影響

○南 航大[1,2]、平野 倫[2]、土田 和輝[2]、小柳 創[2]、佐藤 湧[2]、川上 途行[2,3]、近藤 国嗣[2]、高橋 碧希[1]、田中 優生[1]、清水目 和[1]、大熊 健太[1]、篠崎 佑介[1]、川又 涼[1]、渡邊 龍憲[1,4]

[1]青森県立保健大学大学院　健康科学研究科、[2]東京湾岸リハビリテーション病院、[3]慶應義塾大学　医学部　リハビリテーション医学教室、[4]早稲田大学　スポーツ科学研究センター

一般演題（ポスター） 術中モニタリング（1）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:10（ポスター会場）

座長：齋藤 貴徳（関西医科大学 整形外科）

P1-41 心拍数、血圧の上昇で MEP、SEP の振幅低下を認めた一例
○山本 啓介、杉山 邦男
東邦大学医療センター大森病院

P1-42 当院における abnormal muscle response（AMR）の検出方法の工夫
○山田 大輔[1]、坪倉 雅人[2]、小笠原 将太[2]、郷田 真弓[2]、笠島 一洋[1]、定政 信猛[1]、滝 和郎[1]
[1] 康生会武田病院 脳神経外科、[2] 康生会武田病院 検査科

P1-43 MCA 脳動脈瘤クリッピング術における、ICG 投与から 3 分間の MEP の振幅変化
○池田 紘二
大西脳神経外科病院 医療技術部 臨床検査科・臨床工学科

P1-44 仰臥位神経血管減圧術における ABR・AMR 術中モニタリングの有用性
○松本 政輝[1]、新井 晋太郎[1]、清水 克悦[1]、稲葉 明日香[2]、関 美緒[2]、武内 芽衣[2]、渡辺 涼加[2]、奈良 英里香[2]
[1] 昭和医科大学 医学部 脳神経外科学講座、[2] 昭和医科大学病院 臨床検査室臨床検査部門 生理検査室

P1-45 脳神経減圧術中 ABR における刺激頻度依存性の I ー III 波間潜時選択的延長
○樋口 佳則[1]、栗原 聡[1]、前田 紘一郎[1]、岡原 陽二[2]、青柳 京子[2]
[1] 千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科学、[2] 千葉県循環器病センター脳神経外科

一般演題（ポスター） 神経伝導検査・誘発筋電図

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:16（ポスター会場）

座長：佐藤 研吾（鳥取大学 医学部保健学科病態検査学講座）

P1-46 逆行性感覚神経伝導検査を用いて検討した環指背側の感覚支配
○高井 一志[1]、三村 知之[1]、谷 栄了[1]、長谷川 修[2]、松永 徹也[1]
[1] 三豊総合病院企業団 リハビリテーション部、[2] 横浜市立大学

P1-47 尺骨神経のインチング法でみた神経伝導と神経エコーでみた断面積との関連性
～健常者での検討から～
○原嶋 渉、山﨑 優貴子、児玉 三彦、水野 勝広
東海大学医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学

P1-48 末梢神経伝導検査における 2 点記録・波形の Digital Subtraction の結果についての振り返り
○久保田 美里[1]、戸田 晋央[2]、瀬谷 尚義[1]、竹下 実歩[1]、田井 祐紀子[1]、紺谷 智[2]、東盛 雄政[2]
[1] 新松戸中央総合病院 生理検査室、[2] 新松戸中央総合病院 脳神経内科

P1-49 骨格筋量と神経伝導検査指標との相関についての探索的研究
○篠塚 一摩[1]、森島 亮[2]、村山 典子[1]、金子 幸子[1]、瀬川 葵[1]、小池 清美[1]、押本 貴之[1]、石澤 圭介[1]、川添 僚也[2]、木村 英紀[2]、木田 耕太[2]
[1] 東京都立神経病院 検査科、[2] 東京都立神経病院 脳神経内科

P1-50　随意収縮時の筋磁場の decomposition による短母指外転筋の単一運動単位活動の抽出

○大谷 泰[1]、赤座 実穂[2]、足立 善昭[3]、渡部 泰士[1]、関原 謙介[1]、川端 茂徳[1]

[1]東京科学大学　先端技術医療応用学講座、[2]東京科学大学　生命情報応用学分野、[3]金沢工業大学　先端電子技術応用研究所

P1-51　MEG を用いた健常者での長潜時反射誘発時の大脳皮質の関与の検討

○坂本 竜一[1,5]、矢澤 省吾[2]、武田 紘昌[2,4]、八木 和広[3]、鶴田 和仁[2]、荒川 英樹[5]

[1]潤和会記念病院　リハビリテーション科、[2]潤和会記念病院　脳神経内科、[3]潤和会記念病院　臨床検査室、[4]宮崎大学医学部附属病院　脳神経内科、[5]宮崎大学医学部附属病院　リハビリテーション科

一般演題（ポスター）　末梢神経疾患（1）

11 月 12 日（木）　14:40 ～ 15:16（ポスター会場）

座長：清水 崇宏（東京都立神経病院 脳神経内科）

P1-52　神経伝導検査が診断に有効であった肺尖部腫瘍の 1 例

○中島 聡一[1]、武田 里彩[2]、目黒 未来子[2]、星 径子[2]、江花 翔太[2]、納谷 紅葉[2]、塩瀬 拓人[4]、嶋崎 睦[3]、廣瀬 正樹[4]、本田 雅人[1]、山田 登[1]、鈴木 一瑛[1]、佐々木 陽一[1]、後藤 秀太[1]、村田 勇人[1]、奥田 拓[1]、常陸 真[5]

[1]竹田綜合病院　整形外科、[2]竹田綜合病院　臨床検査科　生理検査室、[3]竹田綜合病院　リハビリテーション科、[4]竹田綜合病院　脳神経内科、[5]竹田綜合病院　放射線科

P1-53　高齢者の腓骨神経麻痺に前脛骨筋導出が有用であった 2 例

○門永 陽子、橋本 裕希、竹下 由季、小山 卓也、石川 夏帆、杉村 香奈

松江市立病院

P1-54　インフルエンザワクチン接種後に神経痛性筋萎縮症と考えられる左橈骨神経麻痺を呈し，改善までの経過を追跡し得た 77 歳男性例

○三森 雅広[1]、松野 博優[1]、茂木 晴彦[1]、園生 雅弘[2,3]

[1]東京慈恵会医科大学　内科学講座　脳神経内科、[2]帝京大学　医療技術学部 視能矯正学科、[3]帝京大学　医学部　脳神経内科学

P1-55　肘部管症候群として手術を行いそうになった急性尺骨神経障害の一例

○石津 敦玄、長谷川 和重

仙塩利府病院　整形外科

P1-56　関節鏡視下腱板修復術後に上肢挙上困難をきたした神経痛性筋萎縮症の一例

○田村 暁子[1]、園生 雅弘[2]、藏谷 幸祐[3]、濱田 雄一[1]、早川 直希[1]、河田 怜子[1]、嶋田 敏行[1]、安川 直征[1]、梅村 ゆりあ[1]、黒田 健仁[1]、柴田 益成[1]

[1]一般財団法人　住友病院　脳神経内科、[2]帝京大学医学部　脳神経内科、[3]JCHO 大阪病院　整形外科

P1-57　正中神経反回枝麻痺に対して神経剥離術を行った 1 例

○堀 莉彩、伊藤 りえ、日塔 寛昇、渡邉 健一、石井 克志、佐藤 庸介、前田 皓、武川 竜朗

横浜医療センター　整形外科

一般演題（ポスター） 末梢神経疾患（2）

11 月 12 日（木） 14:40 ～ 15:28（ポスター会場）

座長：能登　祐一（京都府立医科大学大学院医学研究科 脳神経内科学）

P1-58　環指試験における感覚電位の振幅と持続時間も CTS 診断に役立つ

○松下 隆史[1]、幸原 伸夫[2]

[1] 神戸市立西神戸医療センター　臨床検査技術部、[2] 神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

P1-59　肘部尺骨神経障害と遠位型頸椎症性筋萎縮症の神経伝導検査所見の類似性と差異

○高橋 えり沙[1]、宮地 洋輔[2]、浅野 史織[1]、武田 むつき[1]、森原 啓介[1]、北澤 悠[1]、東山 雄一[1]、木村 活生[3]、上田 直久[3]、土井 宏[1]、馬場 泰尚[2]、田中 章景[1]

[1] 横浜市立大学附属病院　神経内科学･脳卒中医学、[2] 帝京大学医学部附属溝口病院　脳神経内科、[3] 横浜市立大学附属市民総合医療センター　脳神経内科

P1-60　手根管症候群における APB CMAP 消失と第二虫様筋 CMAP の関連
― 糖尿病を含めた多変量解析による検討 ―

○西脇 啓太[1]、川上 明香[1]、杉岡 風來[1]、磯村 優[1]、伊藤 馨太郎[1]、井上 健二[1]、鈴木 優大[1]、夏目 雅弘[2]、伊藤 英史[1]、大嶋 剛史[1]

[1] 刈谷豊田総合病院　臨床検査・病理技術科、[2] 刈谷豊田総合病院　手外科・四肢外傷外科

P1-61　手根管症候群におけるしびれ症状の客観評価―PainVision および神経伝導検査を用いた検討―

○岡本 哲也[1]、山口 幸之助[2]、香川 美宝[1]、堀尾 美友紀[1]、藤澤 茉央[1]、岡 邦彦[2]、宮本 瞬[2]、山田 佳明[2]、稲毛 敏宏[1]、三好 そよ美[1]、野口 早苗[1]、多田 智紀[1]、石川 正和[2]、杉元 幹史[3,4]

[1] 香川大学医学部附属病院　医療技術部検査部門、[2] 香川大学　医学部　整形外科、[3] 香川大学医学部　泌尿器・副腎・腎移植外科、[4] 香川大学医学部附属病院　検査部

P1-62　特発性前骨間神経麻痺に対する神経伝導検査法の有用性

○信田 進吾

松田病院

P1-63　神経超音波による腕神経叢評価から手術に至った disputed neurogenic TOS の 2 例

○山崎 博輝[1]、高松 直子[1]、木村 友彦[2]、谷 美紀[1]、花田 健太[1]、福本 竜也[1]、大崎 裕亮[1,3]、東原 真奈[1]、西庄 俊彦[4]、松井 尚子[1]、和泉 唯信[1]

[1] 徳島大学病院　脳神経内科、[2] 東京大学大学院　医学系研究科　脳神経医学専攻神経内科学、[3] 徳島県立中央病院　脳神経内科、[4] 徳島大学大学院　医歯薬学研究部　運動機能外科学分野

P1-64　尺骨神経管症候群の電気生理学的診断と手術成績

○信田 進吾

松田病院　整形外科

P1-65　記録筋を追加した神経伝導検査により局在診断し得た絞扼性ニューロパチーの 2 例

○佐々木 宏仁[1,2]、上野 亜佐子[1,3]、前田 良太[1]、山口 萌[4]、原田 真紀子[4]、西山 康裕[1]

[1] 福井大学　医学部　脳神経内科学講座、[2] 杉田玄白記念公立小浜病院　神経内科、[3] 福井県済生会病院　脳神経内科、[4] 杉田玄白記念公立小浜病院　臨床検査科

一般演題（ポスター） AI・脳機能解析

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:42（ポスター会場）

座長：花川 隆（国立大学法人　京都大学 高次脳科学講座　脳統合イメージング分野）

P2-01　随意収縮下の磁気刺激 MEP 潜時の制約付き隠れマルコフモデルによる推定

○原 涼[1]、代田 悠一郎[1,2]、濱田 雅[1]

[1] 東京大学医学部附属病院　脳神経内科、[2] 東京大学医学部附属病院　検査部

P2-02　大脳基底核型 Brain Machine Interface 構想：
DBS 電極から記録する local field potential の可能性

○谷 直樹、末松 拓也、平井 健太郎、牛田 裕子、細見 晃一、Khoo Hui Ming、貴島 晴彦

大阪大学大学院医学系研究科　脳神経外科

P2-03　左一次運動野への経頭蓋静磁場刺激が刺激対側の脳血流動態に及ぼす影響

○星 春輝[1,2]、芝田 純也[1,2]、美馬 達哉[3]、大西 秀明[1,2]

[1] 新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　理学療法学科、[2] 新潟医療福祉大学　運動機能医科学研究所、[3] 立命館大学大学院　先端総合学術研究科

P2-04　Lesion-Symptom Mapping による脳卒中後のしびれと痛みの責任病変の検討

○細見 晃一[1,2]、森 信彦[1,2]、山本 暁大[1,3]、平井 健太郎[1]、星隈 悠平[1]、末松 拓也[1]、根岸 克行[1]、入里 直樹[1]、森口 玄渡[1]、牛田 裕子[1,2]、一瀬 綾花[1]、清水 豪士[1]、Khoo Hui Ming[1]、谷 直樹[1]、貴島 晴彦[1,2]

[1] 大阪大学大学院　医学系研究科　脳神経外科学、[2] 大阪大学医学部附属病院　疼痛医療センター、[3] 阪和記念病院　脳神経外科

P2-05　神経伝導検査における刺激アーチファクト低減に対する刺激電極回旋およびアース電極条件の影響：統合シミュレーションモデルによる検討

○宮崎 裕大[1,2]、海津 伶[3]、西川 順治[4]、高橋 修[5]、牛島 良介[6]、高橋 宣成[7]、富田 豊[8]、辻 哲也[2]

[1] 国立精神・神経医療研究センター　病院　身体リハビリテーション部、[2] 慶應義塾大学医学部　リハビリテーション医学教室、[3] 埼玉医科大学国際医療センター　リハビリテーション科、[4] 埼玉石心会病院　診療部　リハビリテーション科、[5] 東京都リハビリテーション病院　検査科、[6] ニューロビジネスアドバイザ、[7] 東京都立多摩北部医療センター　リハビリテーション科、[8] 慶應義塾大学

P2-06　注意機構を導入した時空間グラフ畳み込みネットワーク（STA-GCN）による皮質皮質間誘発電位（CCEP）を用いたてんかん発作起始領域（SOZ）の自動局在化

○片山 創己[1]、平川 翼[2]、山下 隆義[3]、橋本 黎[4]、竹中 友洋[5]、松本 明香[4,5]、小林 勝哉[5]、菊池 隆幸[6]、松本 理器[5]、藤吉 弘亘[1]

[1] 中部大学大学院　工学研究科　ロボット理工学専攻、[2] 中部大学　理工学部　AI ロボティクス学科、[3] 中部大学大学院　工学研究科　情報工学専攻、[4] 神戸大学大学院　医学系研究科　脳神経内科学分野、[5] 京都大学大学院　医学研究科　臨床神経学、[6] 京都大学大学院　医学研究科　脳神経外科学

P2-07　SPES 刺激パラメータによる応答特性の変化：周波数依存性の検討

○相澤 桃[1]、園田 真樹[1,2]、藤井 啓太[1,2]、會見 比佐夫[1,2]、池谷 直樹[1,2]、末永 潤[1,2]、小野寺 英孝[1,2]、立石 健祐[1,2]、山本 哲哉[1,2]

[1] 横浜市立大学　医学部　脳神経外科、[2] 横浜市立大学大学院　医学研究科　脳神経外科学

一般演題（ポスター） 脳波一般（2）

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:48（ポスター会場）

座長：松橋 眞生（神戸大学大学院医学系研究科 医療創成工学専攻 医療機器学講座）

P2-08 文字逐次提示における意味確定過程の脳波計測と電極ベース状態空間モデルによる方向性相互作用の探索

○田中 玲桐
株式会社湘南保育　幼児教育研究部

P2-09 国際 10-20 法電極配置による脳波記録の、ICLabel 適用妥当性の検討

○鹿野 晃矛[1]、齋藤 真生[1]、長岡 敦子[1]、日野 瑞城[2]、國井 泰人[1,2,3]、富田 博秋[1,2,3]
[1] 東北大学病院　精神科、[2] 東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門 災害精神医学分野、[3] 東北大学大学院 医学系研究科 精神神経学分野

P2-10 変形性膝関節症患者における前頭部安静時脳波 peak alpha frequency の特徴

○森川 雄生[1,2]、佐々木 遼[3,4,5]、徳田 光紀[1,2]、寺田 奈穂[1]、原田 侑真[1]、西渕 大悟[1,2]、大住 倫弘[2,3,6]
[1] 平成記念病院　リハビリテーション課、[2] 畿央大学大学院　健康科学研究科、[3] 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター、[4] 日本学術振興会、[5]Department of Physical Therapy & Rehabilitation Science, University of Iowa、[6] 畿央大学健康イノベーション教育研究センター

P2-11 局所頭蓋内脳波活動による覚醒・睡眠状態の推定

○池谷 直樹[1,2]、小泉 陽菜乃[3]、今西 雄也[1,2]、服部 愛[1,2]、藤井 啓太[1,2]、園田 真樹[1,2]、ミケレット ルジェロ[3]、山本 哲哉[1,2]
[1] 横浜市立大学大学院　医学研究科・医学部　脳神経外科学、[2] 横浜市立大学附属病院　YCU てんかんセンター、[3] 横浜市立大学大学院　生命ナノシステム科学研究科　物質システム科学

P2-12 救命 ICU における簡易脳波モニタリングの実施状況と発作関連パターンの検出率

○麥倉 慎、神宮司 成弘、植西 憲達
藤田医科大学 救急医学・総合内科学講座

P2-13 カテゴリ弁別課題 / 聴覚性言語記憶における海馬活動の側方性検証

○小林 柚月[1]、藤井 啓太[2]、園田 真樹[2]、會見 比佐夫[2]、池谷 直樹[2]、末永 潤[2]、小野寺 英孝[2]、立石 健祐[2]、山本 哲哉[2]
[1] 横浜市立大学　医学部　医学科、[2] 横浜市立大学　大学院　医学研究科　脳神経外科学

P2-14 選択的 Wada test における投与血管と頭蓋内脳波変化との空間的関連性

○藤井 啓太[1]、園田 真樹[1]、中居 康展[1]、黒須 咲良[2]、會見 比佐夫[1]、鈴木 良介[1]、池谷 直樹[1]、末永 潤[1]、小野寺 英孝[1]、立石 健祐[1]、山本 哲哉[1]
[1] 横浜市立大学　大学院医学研究科　脳神経外科学、[2] 東京都リハビリテーション病院　リハビリテーションセンター　言語療法部門

P2-15 逐次文字提示課題における意味形成過程の時間的解読
— Group Cross-Validation と Haufe パターンを用いた EEG 解析 —

○田中 玲桐
株式会社湘南保育　幼児教育研究部

一般演題（ポスター） 事象関連電位

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:30（ポスター会場）

座長：吉村 匡史（関西医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科）

P2-16 Go 条件と Nogo 条件の頻度の違いにおける N2 の様相

○平野 大輔[1,2]、後藤 純信[1,3,4]、木村 修豪[5]、勝二 博亮[6]、谷口 敬道[1,2]

[1] 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科、[2] 国際医療福祉大学 保健医療学部 作業療法学科、[3] 国際医療福祉大学 医学部 医学科 生理学教室、[4] 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 作業療法学科、[5] 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 作業療法学科、[6] 茨城大学 教育学部 障害児生理研究室

P2-17 音圧 / 周波数変化による 40 Hz 聴性定常反応の脱同期

○渡邊 孝康[1]、元村 英史[2]、久富 一毅[1]、中山 裕介[1]、岡本 季苗[1]、新家 加奈子[1]、乾 幸二[3,4]、岡田 元宏[2]、杉本 和史[1]

[1] 三重大学医学部附属病院 検査部、[2] 三重大学大学院医学系研究科 精神神経科学分野、[3] 愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 神経情報研究部門、[4] 生理学研究所 生体機能情報解析室

P2-18 音源定位刺激を用いた階層的聴覚予測誤差モデルのパラダイム検討

○葛西 彩理[1]、藤田 雄輝[1]、山羽 亜美[1]、塚本 実奈子[1]、中山 享之[1]、藤田 貢平[2]、乾 幸二[3]、牛田 享宏[4]、西原 真理[4]

[1] 愛知医科大学病院 中央臨床検査部、[2] 愛知医科大学 医学部 精神学講座、[3] 愛知県異様療育総合センター 発達障害研究所 障害システム研究部門、[4] 愛知医科大学 医学部 疼痛医学講座

P2-19 双極性障害におけるペアパルス刺激を用いた聴性定常反応と sensory gating の検証

○河野 修大[1]、元村 英史[1]、久富 一毅[2]、中山 裕介[2]、渡邊 孝康[2]、新家 加奈子[2]、樋口 恵一[2]、中野 智介[1]、乾 幸二[3,4]、岡田 元宏[1]

[1] 三重大学大学院医学系研究科 精神神経科学分野、[2] 三重大学医学部附属病院 検査部、[3] 愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 神経情報研究部門、[4] 生理学研究所 生体機能情報解析室

P2-20 自己ペース運動における運動間隔の違いがβ帯域脳律動に及ぼす影響

○祐川 岳大[1]、小菅 凜[1]、酒井 啓吾[1]、松田 裕弥[1,2]、岩田 昴樹[1,3]、安部 千秋[1,3]、柴田 恵理子[4]、佐々木 健史[5]、菅原 和広[5]

[1] 札幌医科大学大学 保健医療学研究科、[2] 日本学術振興会 特別研究員、[3] 札幌柏葉会病院 リハビリテーション科、[4] 北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、[5] 札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 理学療法学第一講座

一般演題（ポスター） てんかん（3）

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:54（ポスター会場）

座長：山崎 まどか（国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科）

P2-21 24 時間対応の緊急脳波・長時間ビデオ脳波体制の臨床的有用性

○富澤 伸太郎[1]、曽我 天馬[2]、曽我 海馬[2]、荒谷 菜海[2]、原田 早苗[1]、大槻 泰介[2]、曾我 孝志[2]

[1] ベーテル病院 検査科、[2] ベーテル病院 てんかん内科

P2-22　優位半球海馬切除後早期言語性記憶低下に影響を与える因子の検討

○瀬山 剛、香川 幸太、岡村 朗健、ロファット アスコロ、堀江 信貴
広島大学病院脳神経外科

P2-23　脳波読影におけるモンタージュ使用行動とてんかん性異常判定の調査
— 複数モンタージュ同時描出による評価 —

○斉藤 聡志[1,2]、倉持 泉[1]、田中 久弥[3]、谷口 豪[1]
[1]国立精神・神経医療研究センター病院　てんかん診療部、[2]東京女子医科大学　脳神経内科、[3]工学院大学　情報学部情報デザイン学科　生体情報処理研究室

P2-24　高齢者てんかん診療における脳波検査時の睡眠導入剤使用の安全性と臨床的意義

○山本 清璃[1]、川口 典彦[2]、足立 奈穂[1]、若松 翼[1]、鈴木 菜摘[1]、佐倉 裕二[1]、松井 一樹[1]、臼井 直敬[2]
[1]NHO 静岡てんかん・神経医療センター 検査科、[2]NHO 静岡てんかん・神経医療センター てんかん科

P2-25　未治療の特発性全般てんかんの外来脳波診断における棘徐波検出確率を数学的モデルで推測した

○小野 智憲[1,2,3]、佐藤 和明[2,4]、森嶌 孝文[3]、熊谷 信利[3]、西口 奈菜子[2,5]、本田 涼子[2,5]
[1]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　機能形態発達研究部、[2]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　てんかんセンター、[3]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　脳神経外科、[4]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　脳神経内科、[5]NHO 長崎医療センター　臨床研究センター　小児科

P2-26　てんかん性スパズムにおける高周波パワーの領域間差：SEEG を用いた 2 症例の検討

○井上 岳司[1]、山本 直寛[1]、志手 弥生[1]、福岡 正隆[1]、温井 めぐみ[1]、九鬼 一郎[1]、石本 幸太郎[2]、馬場 良子[2]、國廣 誉世[2]、宇田 武弘[2,3]、岡崎 伸[1]
[1]大阪市立総合医療センター　小児脳神経・言語療法内科、[2]大阪市立総合医療センター　小児脳神経外科、[3]大阪公立大学　大学院医学研究科　脳神経外科

P2-27　当院のポータブル脳波検査で Rhythmic and Periodic Patterns（RPPs）が検出された後の治療強化に関する後方視的研究

○三枝 信大郎、岩見 朋美、永井 俊行、碓井 遼、飯塚 高浩、西山 和利
北里大学　医学部　脳神経内科学

P2-28　当院のポータブル脳波検査によるくも膜下出血患者の予後不良因子の検討

○岩見 朋美[1]、永井 俊行[1]、碓井 遼[1]、山本 大輔[2]、小泉 寛之[2]、隈部 俊宏[2]、飯塚 高浩[1]、西山 和利[1]
[1]北里大学　医学部　脳神経内科学、[2]北里大学　医学部　脳神経外科学

P2-29　非けいれん性てんかん重積を念頭においた Critical Care EEG で、背景活動の異常や局所徐波から想定外の頭蓋内病変の存在を指摘し得た 2 例

○川井 洋輔[1,2]、宇佐美 清英[3]、細川 恭子[3]、岡田 慶太郎[1]、立田 直久[1]、眞木 崇州[1]、村山 豪宏[4]、山路 翔太[5]、宮本 岳直[4]、石黒 義孝[4]、大鶴 繁[4]、松本 理器[1]
[1]京都大学医学部附属病院　脳神経内科、[2]新潟大学大学院医歯学総合研究科　救急集中治療医学分野、[3]京都大学医学部附属病院　検査部、[4]京都大学医学部附属病院　初期診療・救急科、[5]京都大学医学部附属病院　循環器内科

一般演題（ポスター） 運動調節

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:30（ポスター会場）

座長：文室 知之（大分大学 医学部　先進医療科学科　生命健康科学コース）

P2-30　外的リズムの有無と種類がリズミカルな運動時の神経同調およびβ帯域脳律動に及ぼす影響

○小菅 凜[1]、橋本 菫[2]、松田 裕弥[1,3]、岩田 昴樹[1,4]、祐川 岳大[1]、酒井 啓吾[1]、柴田 恵理子[5]、佐々木 健史[2]、菅原 和広[2]

[1]札幌医科大学大学院　保健医療学研究科、[2]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[3]日本学術振興会　特別研究員、[4]札幌柏葉会病院　リハビリテーション科、[5]北海道文教大学　医療保健科学部　リハビリテーション学科　理学療法学専攻

P2-31　自己ペース右母指運動の運動間隔がβ帯域事象関連脱同期および事象関連同期に及ぼす影響：脳磁図による検討

○菅原 和広[1,2,3,4,5,6,7]、小菅 凜[2]、松田 裕弥[2,3]、祐川 岳大[2]、酒井 啓吾[2]、齊藤 秀和[4]、佐々木 健史[1]、佐々木 祐典[5]、植田 佑樹[6]、松橋 眞生[7]

[1]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[2]札幌医科大学　保健医療学研究科、[3]日本学術振興会　特別研究員、[4]札幌医科大学　保健医療学部　作業療法学科　作業療法学第一講座、[5]札幌医科大学　医学部　生理学講座　神経科学分野、[6]北海道大学病院　小児科、[7]神戸大学大学院　医学系研究科　医療創生工学領域

P2-32　Go/NoGo 課題における手がかり刺激は反応準備期におけるα帯域の脳律動を変調させる

○松田 裕弥[1,2]、小菅 凜[1]、岩田 昴樹[1,3]、祐川 岳大[1]、酒井 啓吾[1]、佐々木 健史[4]、柴田 恵理子[5]、菅原 和広[4]

[1]札幌医科大学大学院　保健医療学研究科、[2]日本学術振興会　特別研究員、[3]札幌柏葉会病院　リハビリテーション科、[4]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[5]北海道文教大学　医療保健科学部　リハビリテーション学科　理学療法学専攻

P2-33　音楽テンポの違いが運動時のβ帯域事象関連同期に及ぼす影響

○橋本 菫[1]、小菅 凜[2]、松田 裕弥[2,3]、岩田 昴樹[2,4]、祐川 岳大[2]、酒井 啓吾[2]、佐々木 健史[1]、菅原 和広[1]

[1]札幌医科大学　保健医療学部　理学療法学科　理学療法学第一講座、[2]札幌医科大学大学院　保健医療学研究科、[3]日本学術振興会　特別研究員、[4]札幌柏葉会病院　リハビリテーション科

P2-34　歩行時すくみ現象の筋シナジー分析 -1 症例での検討

○長岡 正範[1,2]、海老原 彰[1]

[1]友志会リハビリテーション翼の舎病院　リハビリテーション科、[2]順天堂大学医学研究会脳神経内科・リハビリテーション科

一般演題（ポスター） リハビリテーション

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:54（ポスター会場）

座長：児玉 三彦（東海大学医学部 専門診療学系リハビリテーション科学）

P2-35　回内筋伸張による皮質脊髄路の経時的興奮性変化

○塗木 ひかる、衛藤 誠二、河村 健太郎

鹿児島大学　医歯学総合研究科

P2-36　拡散型圧力波療法後に足クローヌスと腓腹筋筋弾性率が異なる経時的変化を認めた回復期脳卒中患者の一例

○佐藤 孝嗣[1]、水関 つむぎ[1]、田中 飛呂[1]、石田 正高[2]、井上 靖悟[1]、近藤 国嗣[2]

[1]東京湾岸リハビリテーション病院　リハビリテーション部、[2]東京湾岸リハビリテーション病院　リハビリテーション科

P2-37　末梢性顔面神経麻痺に対する発症後2ヶ月の表情筋ストレッチが後遺症の程度に与える影響

○森嶋 直人、真田 将太

豊橋市民病院リハビリテーションセンター

P2-38　標準ディサースリア検査（AMSD）と嚥下内視鏡検査による兵頭スコアの関連についての検討

○高橋 健祐[1]、代田 悠一郎[1,2]、小谷 理紗[1]、海永 光洋[1]、後藤 多嘉緒[3,4]、上羽 瑠美[3,4]、濱田 雅[1]

[1]東京大学医学部附属病院　脳神経内科、[2]同　検査部、[3]同　摂食嚥下センター、[4]同　耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P2-39　MScan-Fit methodを用いた運動単位数推定による顔面神経麻痺患者の予後評価（第二報）

○北大路 隆正[1]、能登 祐一[1]、松岡 千紘[1]、辻 有希子[1]、二之湯 弦[2]、瀧 正勝[2,3]、平野 滋[2]、尾原 知行[1]

[1]京都府立医科大学大学院医学研究科　脳神経内科学、[2]京都府立医科大学大学院医学研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、[3]京都市立病院　耳鼻いんこう科

P2-40　プラセボ・ノセボ期待が温冷同時刺激による感覚知覚に及ぼす影響

○松木 明好、小南 玲奈、中野 光祥、林 流成、福田 息吹、村上 塁士、山田 美優夢

四條畷学園大学リハビリテーション学部

P2-41　大腿四頭筋の等尺性収縮強度の違いが反対側の外側広筋に対応する脊髄前角細胞の興奮性変化に与える影響

○中山 一輝[1,2]、黒部 正孝[1,3]、鈴木 俊明[1]

[1]関西医療大学大学院　保健医療学研究科、[2]医療法人研医会　田辺中央病院　リハビリテーション科、[3]神戸リハビリテーション衛生専門学校　理学療法学科

P2-42　中枢性脳卒中後疼痛の安静時脳波活動の特性

○井川 祐樹[1,4]、佐々木 遼[4]、小林 篤生[1,2]、高村 優作[4]、南川 勇二[1,2]、内沢 秀和[1,2]、大住 倫弘[2,3,4]、生野 公貴[1,2]

[1]西大和リハビリテーション病院、[2]畿央大学大学院　健康科学研究科、[3]畿央大学健康イノベーション教育研究センター、[4]畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター

P2-43　AI制御型筋電ロボットを用いた訓練が非利き手側での箸操作獲得に与える影響

○瀬尾 彩葉[1]、桐本 光[1]、車谷 洋[2]

[1]広島大学大学院　医系科学研究科　感覚運動神経科学教室、[2]名古屋市立大学医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻

一般演題（ポスター） 術中モニタリング（2）

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:42（ポスター会場）

座長：岩崎 真樹（国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科）

P2-44 胸部下行・胸腹部大動脈人工血管置換術における multi-train 刺激 運動誘発電位（MEP）モニタリングの有用性の検討

○油野 岳夫、中田 晶子、寺上 貴子、中出 祐介、松村 和起、森 三佳、金森 肇
金沢大学附属病院 検査部

P2-45 脳神経外科手術における MEP オート閾値テスト

○田中 聡[1]、田中 達也[2]、冨尾 亮介[3]、吉田 信介[4]、深作 和明[1]、水成 隆之[1]、郷原 敦史[5]、刈田 弘樹[6]、三木 俊一郎[6]、石川 栄一[6]
[1] 千葉徳洲会病院 脳神経外科、[2] 国際医療福祉大学 成田病院 脳神経外科、[3] 本庄脳神経外科・脊椎外科 脳神経外科、[4] 東京都立神経病院 脳神経外科、[5] 千葉徳洲会病院 検査科、[6] 筑波大学 医療医学系 脳神経外科

P2-46 小児麻痺後遺症例に合併した腰椎椎間板ヘルニアにおける術中モニタリング解釈の課題

○村上 友宏[1]、村上 孝徳[2]、入江 伸介[2]、斎藤 孝次[3]
[1] 社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 脊椎脊髄外科、[2] 社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 脳神経外科、[3] 社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院 脳神経外科

P2-47 占拠率 50％以上の頚椎後縦靭帯骨化症術中 MEPs 低下と CT 画像の検討

○今城 靖明
JCHO 徳山中央病院

P2-48 Propensity score matching を用いた選択的頚椎椎弓形成術の治療成績の再検討

○藤本 和弘、舩場 真裕、今城 靖明、永尾 祐治、坂井 孝司
山口大学 医学部 整形外科

P2-49 Automated Neural Dosing for Fast-Acting Subperception Therapy（FAST）の初期使用経験

○東山 巨樹、田村 晋也、菅原 卓
秋田県立循環器・脳脊髄センター 脊髄脊椎外科

P2-50 低反応レベルレーザー照射療法は膀胱炎モデルラットの蓄尿障害を改善する

○内山 智之[1,2,3]、山本 達也[4,6]、榊原 隆次[5,6]、村井 弘之[1,3]
[1] 国際医療福祉大学 医学部 脳神経内科、[2] 国際医療福祉大学塩谷病院 脳神経内科、[3] 国際医療福祉大学成田病院 脳神経内科、[4] 千葉県立保健医療大学リハビリテーション学科作業療法学専攻、[5] 神経内科津田沼、[6] 千葉大学 医学部 脳神経内科

一般演題（ポスター） 運動ニューロン疾患・脊髄疾患・神経筋接合部・筋疾患

11 月 13 日（金） 17:00 ～ 17:36（ポスター会場）

座長：叶内 匡（東京科学大学 全人的医療開発学講座 臨床検査医学分野）

P2-51 近位型頚椎症性筋萎縮症 27 例の臨床的および神経生理学的特徴

○宮本 詩子[1,2]、西村 康平[2]、松永 拓也[2]、寺本 靖之[2]、岩永 書朋[2]、渡邉 進[1]
[1] 熊本機能病院 脳神経内科・リハビリテーション科、[2] 熊本機能病院 神経生理センター

P2-52　筋萎縮性側索硬化症における腹直筋厚評価の意義―横隔膜超音波の代替指標となりうるか―

○森島 亮[1]、木田 耕太[1]、木村 英紀[1]、川添 僚也[1]、清水 崇宏[1]、篠塚 一摩[2]、小池 清美[2]、石澤 圭介[2]、清水 俊夫[3]、中山 優季[4]、高橋 一司[1]

[1]東京都立神経病院　脳神経内科、[2]東京都立神経病院　検査科、[3]東大和病院　脳神経内科、[4]東京都医学総合研究所　難病ケア看護ユニット

P2-53　ALS 患者の症状発症部位別 split finger, weak shoulder 陽性率

○寺澤 由佳[1]、佐藤 達哉[1]、佐藤 恒太[1]、黒川 勝己[2]、園生 雅弘[3]

[1]脳神経センター　大田記念病院　脳神経内科、[2]川崎医科大学　総合医療センター　総合内科 1、[3]帝京大学医療技術学部　視能矯正学科

P2-54　妊娠中にリトドリン塩酸塩投与後の高ＣＫ血症を契機に診断された筋強直性ジストロフィーの 2 例

○加藤 秀紀、浦田 真優、宮武 仁志、奥田 佳介、青木 聡大、小栗 卓也、湯浅 浩之

公立陶生病院

P2-55　当院における閾値追跡経頭蓋磁気刺激法を使用した筋萎縮性側索硬化症（ALS）の皮質過興奮性の測定と臨床パラメーターとの関係

○辻 有希子、松岡 千紘、北大路 隆正、能登 祐一、尾原 知行

京都府立医科大学大学院　医学研究科　脳神経内科学

P2-56　筋萎縮性側索硬化症における運動負荷前後の低頻度反復刺激試験の減衰率の変化と進行速度との関連についての検討

◯山川 勇、田村 亮太、塚本 剛士、矢端 博行、小橋 修平、玉木 良高、小川 暢弘、漆谷 真

滋賀医科大学　脳神経内科学講座

一般演題（ポスター）　末梢神経・筋疾患

11 月 13 日（金）　17:00 ～ 17:54（ポスター会場）

座長：岩田 信恵（国際医療福祉大学三田病院 脳神経内科）

P2-57　ギラン・バレー症候群患者の神経伝導検査所見と snRNP 抗体との関係

○清水 文崇[1]、大石 真莉子[1]、西岡 光昭[2]、大田 勇[2]、鉄田 有希乃[2]、児玉 雅季[2]、中森 雅之[1]

[1]山口大学大学院　医学系研究科　臨床神経学、[2]山口大学医学部附属病院　検査部

P2-58　初診時ギラン・バレー症候群との鑑別が困難であった慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の臨床的・電気生理学的特徴の検討

○石井 淳子、近藤 圭一郎、槌田 健太、島田 遥生、春名 孝太郎、尾原 信行、吉村 元、幸原 伸夫、川本 未知

神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

P2-59　前腕部の混合神経における Multifocal CIDP の運動・感覚神経障害の特徴

○青山 尚史[1,2]、赤座 実穂[1,3]、大谷 泰[1]、叶内 匡[1,2]、三澤 園子[1]

[1]東京科学大学　脳神経病態学分野、[2]東京科学大学病院　検査部、[3]東京科学大学　生命情報応用学分野

P2-60　CIDP を模倣した悪性リンパ腫の 2 例：電気診断上のピットフォール

○津川 潤、高橋 信敬、立石 雄嗣、井上 賢一、藤岡 秀康、中村 大斗、栗原 可南子、緒方 利安、馬場 康彦

福岡大学　医学部　脳神経内科

P2-61　COVID-19 パンデミック前後における Fisher 症候群スペクトラムの臨床的および電気生理学的特徴

○十川 和樹[1]、中尾 遼平[1]、谷 美紀[1]、花田 健太[1]、福本 竜也[1]、山本 雄貴[1]、山崎 博輝[1]、大崎 裕亮[2]、高松 直子[1]、山本 伸昭[1]、佐藤 健太[2]、森岡 久尚[3]、松井 尚子[1]、和泉 唯信[1]

[1] 徳島大学大学院　医歯薬学研究部　臨床神経科学分野、[2] 徳島県立中央病院　脳神経内科、[3] 徳島大学大学院　医歯薬学研究部　公衆衛生学分野

P2-62　血管炎性ニューロパチーの治療開始時期と長期予後に関する検討

○伊利 孝宣、森島 亮、木田 耕太、川添 僚也、木村 英紀、高橋 一司

東京都立神経病院　脳神経内科

P2-63　当院で経験した MAG ニューロパチーの臨床・電気生理学的特徴

○上田 真之[1]、中山 貴博[2]、佐々木 拓也[1]

[1] 横浜労災病院　脳神経内科、[2] 横浜労災病院　神経筋疾患部

P2-64　抗 MAG 抗体陽性ニューロパチーの筋電図所見に関しての検討

○川村 玲衣奈[1]、祢津 静花[2]、富樫 淳[1]、水間 敦士[1]、小原 さおり[1]、安部 貴人[1]、永田 栄一郎[1]

[1] 東海大学　医学部　脳神経内科、[2] 伊勢原駅前クリニック

P2-65　外傷・手術後に免疫介在性脱髄性ニューロパチーを発症した 2 例

○槌田 健太、石井 淳子、幸原 伸夫、近藤 圭一郎、島田 遥生、前田 周吾、野村 倫子、太田 和馬、吉村 元、川本 未知

神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科

一般演題（ポスター）　末梢神経疾患（3）

11 月 13 日（金）　17:00 ～ 17:36（ポスター会場）

座長：中森 正博（広島大学病院 脳神経内科）

P2-66　Blink reflex で異常を検出した三叉神経炎の 2 症例

○松本 英之[1]、山田 一貴[1]、太田 祐輔[1]、倉島 葵[1]、濱田 健介[1]、尼崎 賢一[2]、内尾 直裕[1]

[1] 三井記念病院　脳神経内科、[2] 三井記念病院　脳神経外科

P2-67　破傷風の嚥下障害からの回復判定に Blink reflex 二重刺激の回復曲線が役立つと考えられた 1 症例

○安藤 知秀[1,2]、川上 大裕[1]、吉野 俊平[1]、下畑 享良[2]、幸原 伸夫[3]

[1] 株式会社　麻生　飯塚病院、[2] 岐阜大学医学部脳神経内科、[3] 神戸市立医療センター中央市民病院

P2-68　神経筋電気診断学が高位診断の一助になった脊髄空洞症の 47 歳女性例

○河野 優[1]、衣袋 桃代[1]、去川 裕基[1]、高橋 麻葵[1]、佐野 透[2]

[1] 富士市立中央病院　脳神経内科、[2] 富士市立中央病院　脳神経外科

P2-69　顔面筋障害で発症しミオパチーが疑われた Tangier 病の 1 例 ―神経生理学的検討―

○山形 怜史[1]、林 俊行[1]、深澤 美樹[1]、古寺 紘人[1]、中島 泰[2]、須田 智[1]

[1] 日本医科大学付属病院　脳神経内科、[2] 日本医科大学付属病院　糖尿病・内分泌代謝内科

P2-70　運動後の四肢の動かしづらさに対して Exercise test が有用であった 1 例
○細谷 愛、飯嶋 睦、森本 伶美、池口 亮太郎、藤堂 謙一
東京女子医科大学病院　脳神経内科

P2-71　成人移行を契機に診断に至った *NKX2-1* 関連疾患の一例
○高木 あかり、瀬川 義明、吉村 賢二、森畑 宏一、三枝 隆博
大阪市立総合医療センター　脳神経内科

一般演題（ポスター）　末梢神経疾患（4）

11 月 13 日（金）　17:00 ～ 17:42（ポスター会場）

座長：田中 理（横浜市立脳卒中神経脊椎センター 検査部）

P2-72　反復神経刺激試験で異常減衰を認めた急性運動感覚ニューロパチーの 1 例
○山本 大輔[1]、曽根 圭太郎[1,2]、舩越 匠[1]、中村 理奈[1,2]、水越 誉久[1]、山本 晃匡[1]
[1] 砂川市立病院　脳神経内科、[2] 札幌医科大学　内科学講座　神経内科学分野

P2-73　CIDP 維持治療に対してエフガルチギモド皮下注射を選択し神経伝導検査の経時的改善を認めた一例
○大森 直樹[1]、杉原 辰哉[2]、田部井 寛[1]、青木 慶仁[3]、金井 由貴枝[1]、岩佐 憲一[1]、有竹 洵[3]、田中 智貴[1]、長井 篤[1]
[1] 島根大学　医学部　脳神経内科、[2] 島根大学医学部附属病院　検査部、[3] 島根大学医学部附属病院　高度脳卒中センター

P2-74　インフルエンザ B 型罹患後に急速進行性の上肢遠位筋筋力低下を呈したギラン・バレー症候群の 1 例
○道下 裕子[1,2]、石井 淳子[1]、細木 聡[1,3]、幸原 伸夫[1]、川本 未知[1]
[1] 神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科、[2] 聖隷浜松病院　脳神経内科、[3] 国立循環器病研究センター脳神経内科

P2-75　重度な感覚性失調と自律神経障害を来したシェーグレン症候群の一例
○高橋 佑[1,2]、国分 則人[1]、土屋 智裕[1,3]、濱口 眞衣[1]、加藤 一史[1]、松田 葉月[4]、鈴木 圭輔[1]
[1] 獨協医科大学病院　脳神経内科、[2] 足利赤十字病院　脳神経内科、[3] 獨協医科大学日光医療センター　脳神経内科、[4] 獨協医科大学病院　病理診断科

P2-76　感覚障害で発症したギラン・バレー症候群の電気生理学的検討：症例報告
○田中 理[1]、城野 誉士[2]、高橋 幸治[1]、森田 合莉[1]、奥田 夏菜[1]、内田 愛子[1]、久保 陽平[1]、城倉 健[2]
[1] 横浜市立脳卒中神経脊椎センター　検査部、[2] 横浜市立脳卒中神経脊椎センター　脳神経内科

P2-77　神経伝導検査の経時的変化を捉えることができた MFS/PCB variant GBS の 1 例
○杉原 辰哉[1]、古川 翔太[1]、小松 文香[1]、安井 亘[1]、岡崎 亮太[1]、青木 慶仁[2]、矢野 彰三[1]、長井 篤[2]
[1] 島根大学医学部附属病院　検査部、[2] 島根大学医学部附属病院　脳神経内科

P2-78　妊娠 33 週での RS ウイルスワクチン接種後に発症した妊婦 Guillain-Barré 症候群
○近藤 圭一郎[1]、太田 和馬[1]、幸原 伸夫[1]、木山 珠希[2]、大竹 紀子[2]、瀬尾 龍太郎[3]、前田 達也[1]、石井 淳子[1]、吉村 元[1]、川本 未知[1]
[1] 神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科、[2] 神戸市立医療センター中央市民病院　産婦人科、[3] 神戸市立医療センター中央市民病院　救命救急センター

English Poster Session EN

17:00 ～ 17:24, November 13 (Fri.) (Poster Room)

Chair：Shunsuke Kobayashi (Department of Neurology, Teikyo University)

EP-02 Paretic Limb–Predominant Gout Flares After Stroke Associated with Autonomic Dysfunction

○ Kiattiphum Jaturavanich[1]、Pongsathorn Klinkachorn[2]、Kanon Jatuworapruk[2]、Sophapun Ekarattanawong[1]

[1] Faculty of Medicine, Thammasat University, Pathum Thani, Thailand、[2] Department of Internal Medicine, Thammasat University Hospital, Pathum Thani, Thailand

EP-03 Long-term follow up of a patient with MPV17-related hepatocerebral mitochondrial DNA depletion syndrome (MTDPS)

○ HARUKO NAKAMURA[1]、Shiori Asano[1]、Yosuke Miyaji[1,2]、Hiroshi Doi[1]

[1]Department of Neurology and Stroke Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine、[2]Department of Neurology, Teikyo University Hospital Mizonokuchi

EP-04 EEG Changes Following Fenfluramine Treatment in Adults with Lennox-Gastaut Syndrome

○ Mutsuki Takeda[1]、Yu Kitazawa[1]、Masaki Sonoda[2]、Keisuke Morihara[1]、Yousuke Miyaji[1]、Yuichi Higashiyama[1]、Katsuo Kimura[3]、Naohisa Ueda[3]、Fumiaki Tanaka[1]、Hiroshi Doi[1]

[1]Department of Neurology and Stroke Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine、[2]Department of Neurosurgery, Yokohama City University Graduate School of Medicine、[3]Department of Neurology, Yokohama City University Medical Center

EP-05 Exploring Reference Configurations for Alpha Detection in Two-Channel In-Ear EEG

○ Yu Kitazawa[1,2]、Mutsuki Takeda[1]、Ryota Abe[1]、Naoya Uragami[1]、Noriaki Takeda[2]、Keisuke Morihara[1]、Yosuke Miyaji[1]、Yuichi Higashiyama[1]、Katsuo Kimura[3]、Naohisa Ueda[3]、Fumiaki Tanaka[1]、Hiroshi Doi[1]

[1]Department of Neurology and Stroke Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine、[2]Department of Clinical Laboratory, Yokohama City University Hospital、[3] Department of Neurology, Yokohama City University Medical Center